

はじめに

深谷 昌志

●メディアとのかかわり

高校生が変わったといわれる。しかし、それは生徒を取り巻く環境が激変し、そうした変化を受けて、生徒が変容した部分が多いのであろう。環境の変化はさまざまな面から説明できる。その中でメディアとの関連のもつ意味が大きいように思われる。

高校生のまわりには、テレビやテレビゲーム、ファックス、CD、携帯電話やパソコンなど、メカニックなものが多い。現在では、そうした光景に慣れてしまっているが、生徒のまわりにさまざまなメディアが登場したのはそれほど昔ではない。

子どもがメカニックなものに囲まれて育つ。そうしたメディアと子どもとのかかわりがいつから始まったのか。子どもの生活史に関連させて振り返ってみよう。

高校生が、①電子メディア時代に身を置くようになったのは「ファミリーコンピュータ」が発売された昭和61年頃からであろう。その後、「スーパーマリオブラザーズ」や「ドラゴンクエスト」などのブームが続く。

電子メディア以前といえば、②テレビ時代である。テレビが半数の世帯に普及したのは昭和37年で、翌昭和38年に、国産初のテレビアニメ「鉄腕アトム」、続いて「鉄人28号」の放映が始まっている。

もう少しさかのぼると、テレビ以前のメディアとして、③ラジオメディアの時代になる。これは昭和7～8年頃からは、関屋五十二と村岡花子とが交代で伝える「コドモの新聞」を子どもが聴き入る状況を指す。第二次世界大戦後の「鐘の鳴る丘」や「(ラジオ版)赤胴鈴之助」などに子どもたちが熱中したもの

この時代である。

ラジオメディアに先だって、④活字メディアの時代がある。これは、大正初期からで、『少年倶楽部』（講談社版、大正3年）や『立川文庫』（明治44年）に子どもたちが熱中した頃である。自伝などを読むと、『立川文庫』を回し読みした」「親の目を盗んで『少年倶楽部』を買った」などを回想している人は少なくない。

活字メディア時代といわれても、ピントこないかもしれない。しかし、我々がイメージするような家庭は現代に特有なもので、多くの家庭には雑誌一冊ないのが普通だった。したがって、長い間、子どもは家族や友だちなどのパーソナルなふれあいの中で育つ。つまり、子どもたちは本一冊もなく、⑤すべてが直接体験の世界に生活していた。

こうした経過を時代を追って要約するならば、すべてが生の世界という意味では古代も明治も大正も子どもの成長に変わりはない。そうした生の世界に、④目で見る活字が入ってくる。その後、③耳で聴くラジオが加わる。しかし、ここまでは、子どもの生活が大きく変わるとはいえない。

しかし、②テレビが入ってくると、子どもの生活が一変する。土曜日の夜8時になると、どこの子どもも「8時だよ！全員集合」を見る。それだけでなく、テレビはさまざまな情報を家族にもたらす。「集団の中で」「同時性」や「一方通行」に代表されるメディアである。それに対し、①電子メディアの時代になると、子どもは自分の部屋の中で一人きりで、いつでも遊んでみたいときに「スーパーマリオブラザーズ」を手にできる。そうした意味で、

利用したいときに一人きりでいつでも利用できる「個人で」「随時性」や「双方通行」などの特性を備えている。

●電子メディアの功罪

こうした電子メディアが子どもの人間形成にどのような意味をもつのか。電子メディアの功罪を考えてみよう。

①知的世界の広がり—実在感の喪失

かつての子どもは直接体験の世界で暮らしていた。そして、活字、ラジオ、テレビと子どもの生活の中で間接体験の比率が増加したが、それでも直接体験の比重は大きかった。しかし、電子メディアの時代になると、子どもが直接体験を積む以前に、間接体験を通して現象を理解することになる。しかも、圧倒的に大量の間接情報が殺到するので、実像を知らずに、実像と虚像が逆転して、虚像をリアルと信じ込む状況が進む。

②ネットワークの拡大—自己の世界に埋没

パソコン通信を利用すると、遠隔地のまだ見ぬ相手との情報の交換が可能になる。電子メディアの到来により、人間関係が飛躍的に拡大する反面、時間が経つのを忘れ一人きりでゲームソフトに向かうことも可能だ。ゲームをしていると、人工的な「友」と向かい合っ、くつろぎの時を過ごすことができる。

このように、電子メディア社会の到来はネットワークの広がりを保証する反面、孤立化を深めることにもなりやすい。

③自発性と自信—受動性とひけめ

電子メディアを自発的に活用すると、子どもでも海外の情報を入手できるので、そうした自分に自信を抱けるようになる。その反面、何もしなくてもゲームとして何時間でも遊べる。

このように電子メディア時代が到来すると、明暗2つの子ども像が浮かんでくる。明るい面を描くなら、電子メディアにチャレンジして、人間関係のネットワークを広げ、知的世界も拡大する。子どもの枠を超え、個性的に自分の世界を広げる子ども像である。それに対し、暗い子ども像を指すなら、自分の世界に閉じ込め、人との接触をさげ、電子メディアのフォーマットのままに受け身の生活を送る子どもたちである。電子メディアに主体的にチャレンジして、「電子メディアを駆使する子」と電子メディアの指示通りに「電子メディアに埋没する子」との対比である。

このように、高校生のまわりをメカが取り巻いている。そうしたメカを高校生がどう感じているのか、メカ的な環境についての高校生の反応を確かめてみた。

科学技術社会の中の高校生—「メカ」社会における「ナマ」へのあこがれ— 調査概要

- 調査テーマ：科学技術社会の中の高校生
- 調査時期：2003年12月～2004年1月
- 調査方法：学校通しによる質問紙調査
- 調査対象：北海道・東京・鳥取の公立高校4校の1、2年生2,015名（男子1,053名、女子962名）
- 調査内容：音楽学習経験／音楽とのかかわり／本物の音について／科学技術や自然、ライフスタイルについての意見／信じている占い／占ってほしいこと／占いとのかかわり／環境や自然に関して感じること・していること／環境問題と科学技術に関する将来予測／環境・自然保護について／防犯・監視カメラの認知度と必要性／防犯・監視カメラをめぐる意識／好きなもの／自分のタイプ／部活動／現在の成績／自分の将来／希望の進路

1 “ホントの音”ってどんな音？

西島 央

全般に、高校生は、生楽器、ライブの音といった自然な音への志向が強い。また、さまざまな電子媒体を通して出される音に対して、その音が本物かどうかを聞き分けてもいる。ただし、聞き分けるには、音楽学習経験の有無が影響しているようである。

1 高校生の“音”環境

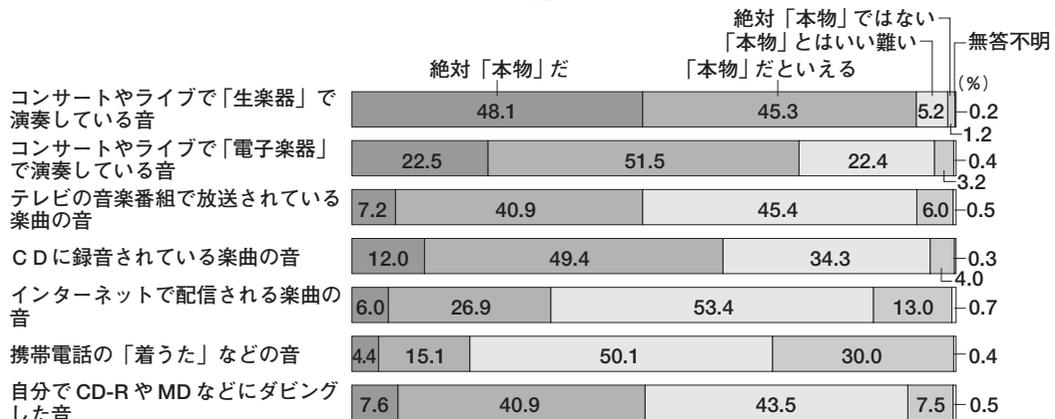
CDにMD、コンポにポータブルプレーヤー、エレキギターに電子ピアノ、ケータイにインターネット…。高校生を取り巻く音環境は科学技術社会の典型だ。「家でテレビの音楽番組を見る」のは、「毎日のように十よく十ときどき」＝「9.8%＋54.6%＋25.1%」＝89.5%、「家でCDなどを聴く」のは、「毎日のように十よく十ときどき」＝「50.2%＋29.8%＋13.4%」＝93.4%、「外出するときにポータブルCDプレーヤーなどで音楽を聴く」のは、「毎日のように十よく十ときどき」＝「25.7%＋18.4%＋17.7%」＝61.8%と、彼らは電子楽器やコンピュータでつくった音

楽の音を、テレビやCDなどを通して聴いている。一方、高校の芸術科での音楽選択者は4割いるが、学校以外では、今「ピアノを習っている」＝6.9%（男子1.5%、女子13.0%）で、「ピアノ以外の楽器」＝4.9%、「声楽」＝1.6%と、生の音楽の音に直接触れている高校生は非常に少ない。

2 どんな音が「本物の“音”」なのか

そんな音環境にある高校生はどんな音を「本物の“音”」だと思っているだろうか。図1-1と表1-1を中心に、音楽学習経験の有無と音楽の「ツールの使用」別にみていく

◆図1-1 「本物」の音と思うか



ことにしたい¹⁾。

①生楽器は9割が、電子楽器は7割が「本物の“音”」と評価

生楽器で演奏している音は「絶対『本物』だ+『本物』だといえる」＝「48.1%+45.3%」、電子楽器で演奏している音は「絶対『本物』だ+『本物』だといえる」＝「22.5%+51.5%」と、生楽器はほとんどが本物の音と評価している一方、電子楽器の音を絶対本物とする評価は生楽器の約半分だった。音楽学習経験がある方が生楽器を絶対本物と評価する割合が7ポイントほど高かったが、電子楽器では差がみられなかった。またツールの使用者の方が生楽器でも電子楽器でも絶対本物と評価する割合が高かった。

②テレビの音楽番組の演奏やCDの演奏は評価が二分

テレビの音楽番組で放送されている楽曲の音は「絶対『本物』だ+『本物』だといえる」＝「7.2%+40.9%」、CDに録音されている楽曲の音は「絶対『本物』だ+『本物』だといえる」＝「12.0%+49.4%」と、本物と評価するのは半数前後で、生楽器や電子楽器のライブの音より本物と評価する割合が低かった。音楽学習経験の有無ではほとんど差がみられなかったが、ツールの使用別にみると、テレビの楽曲の音を「絶対『本物』ではない」と評価する非ツールの使用者が8.2%と否定的な評価が少し強かった。

③CD-RやMDにダビング>インターネット配信の楽曲>携帯電話の「着うた」などCD-RやMDなどにダビングした音は「絶

◆表1-1 「本物」の音と思うか×「ツールの使用」

		(%)	
		ツールの に使う	ツールの に使わない
コンサートやライブで「生楽器」で演奏している音	絶対「本物」だ	51.8	41.7
	「本物」だといえる	43.7	48.3
	「本物」とはいい難しい	3.6	8.0
	絶対「本物」ではない	0.8	2.0
コンサートやライブで「電子楽器」で演奏している音	絶対「本物」だ	24.4	19.4
	「本物」だといえる	52.8	49.6
	「本物」とはいい難しい	19.9	27.1
	絶対「本物」ではない	2.9	3.9
テレビの音楽番組で放送されている楽曲の音	絶対「本物」だ	7.6	6.6
	「本物」だといえる	41.0	41.3
	「本物」とはいい難しい	46.5	43.9
	絶対「本物」ではない	4.9	8.2
CDに録音されている楽曲の音	絶対「本物」だ	13.2	9.8
	「本物」だといえる	50.3	48.2
	「本物」とはいい難しい	33.2	36.7
	絶対「本物」ではない	3.2	5.3
インターネットで配信される楽曲の音	絶対「本物」だ	5.7	6.5
	「本物」だといえる	28.4	24.8
	「本物」とはいい難しい	53.2	54.8
	絶対「本物」ではない	12.6	13.9
携帯電話の「着うた」などの音	絶対「本物」だ	4.3	4.6
	「本物」だといえる	15.5	14.5
	「本物」とはいい難しい	49.9	51.0
	絶対「本物」ではない	30.3	29.9
自分でCD-RやMDなどにダビングした音	絶対「本物」だ	7.6	7.9
	「本物」だといえる	43.4	36.8
	「本物」とはいい難しい	42.3	46.1
	絶対「本物」ではない	6.6	9.3

対『本物』だ+『本物』だといえる」＝「7.6%+40.9%」で、テレビやCDの楽曲の音と同程度に本物と評価されている。インターネット配信の楽曲の音は「絶対『本物』だ+『本物』だといえる」＝「6.0%+26.9%」で、一定程度の音質が保証されているわりに本物の音としての評価は低かった。携帯電話の「着うた」などの音が「絶対『本物』だ+『本物』だといえる」＝「4.4%+15.1%」と最も評価が低かったのは、「着うた」などは1曲まるまる聴けるわけではないからだろう。

インターネットやケータイからダウンロードする方法は非常に簡便だが、本物の音としての評価はまだまだ低いようだ。

3 「音楽の音」としてどういう音がいいと思っているのか

では、高校生は「音楽の音」としてどういう音がいいと思っているのだろうか。図1-2から異なる音を比較してみよう。

①生楽器か電子楽器か

生楽器の方がいいという回答が76.3%、電子楽器の方がいいという回答が9.0%で、圧倒的に生楽器の音の方が音楽の音としていいという評価だった。音楽学習経験がない方が「違いがわからない」が8ポイントほど多く、楽器演奏の経験が楽器の音に対する認知を高めていることがわかる。

②ライブで演奏した音かCD用にスタジオで録音した音か

ライブではミスもあるが、CD用の録音は録り直しをするなど完璧な演奏の音のはずだが、予想に反して、ライブで演奏した音の方がいいという評価が65.1%に上った。ライブの音志向の強さがうかがえるが、ツールの使用別にみると、CD用の音の方がいいと評価

した割合は、ツールの使用者=21.2%に対して非ツールの使用者=27.8%だった。

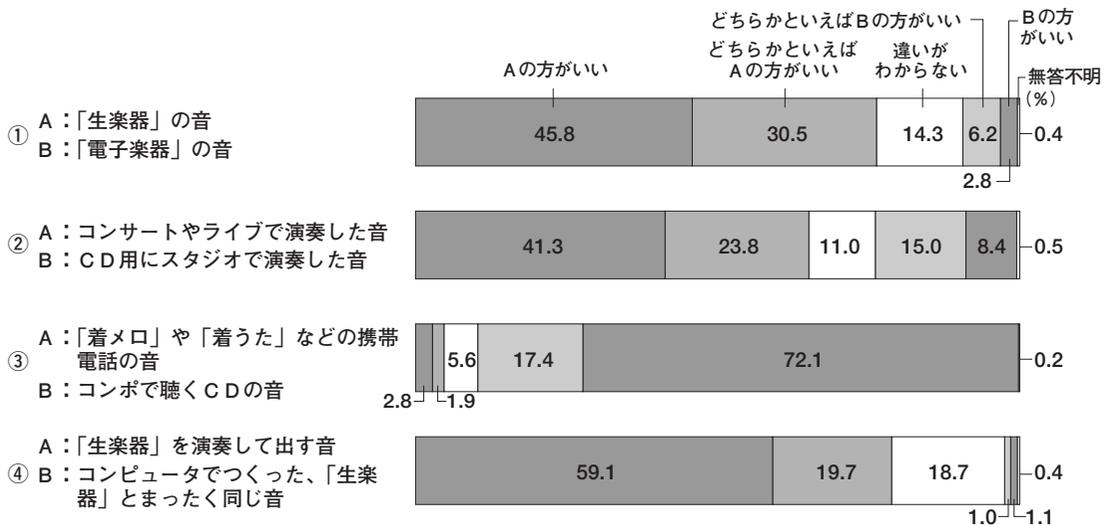
③「着うた」などの携帯電話の音かコンポで聴くCDの音か

約9割がコンポで聴くCDの音の方が音楽の音としていいと評価している。ただツールの使用別にみたとき、ツールの使用者で携帯電話の音がいいと高く評価した割合が3.4%で非ツールの使用者の1.7%より多かった。携帯電話の音が技術的によくなっていったとき、簡単に好きな音楽を入手したり聴いたり交換したりできるようになると、評価が変わっていく可能性がある。

④生楽器を演奏して出す音かコンピュータでつくった生楽器と同じ音か

コンピュータの音はほとんど支持されていない。かといってほとんどの者が生楽器の音を支持しているわけではなく、「違いがわからない」が18.7%もいることに注目できよう。これを音楽学習経験の有無別にみると、経験あり=15.4%に対して経験なし=22.4%となる。

◆図1-2 音楽の音として、AとBのどちらの方がいいと思うか



4 まとめ

高校生はふだん、生楽器やライブの音よりは電子楽器や録音された音、電子媒体から流れる音にさらされているが、全般に生楽器、ライブの音といった、自然な音への志向が強いことがわかった。また、さまざまな電子媒体を通して出される音に対して、その音が本物かどうか聞き分けていることもわかった。ただし、第3節④でみたように、聞き分けるには楽器を演奏した経験が必要で、その意味では、科学技術が発達した分、「音リテラシー」

がリスナーにも求められるようになっていくと考えられる。

-
- 1) 「ツールの使用」変数とは、「友だちとCDなどの貸し借りをする」「友だちとJ-POPや洋楽の話をする」の2項目に対する回答の尺度の数値を足し合わせたもの。点数が低いほどツールの使用をしており、高いほどツールの使用をしていないことになる。分析では、2～6点を「工具的に使う」、7～12点を「工具的に使わない」とした。なお、「ツールの使用」の詳細については、『モノグラフ・高校生vol.63 電子メディアの中の高校生』[第3章 I HATE MUSIC, WE ARE THE MUSIC]を参照のこと。

2

システム化と高校生

大野 道夫

高校生は生活のさまざまな場面で、非システム化を志向している。これを「非科学的」などととはとらえずに、さまざまな場面で自分なりに選択できるように育てていくことが大切であろう。

1 非システム化を志向

ここでは社会制度、食物、人間関係、生物というさまざまな領域について、高校生がA：システム化したものを選ぶか、B：自然や生活に密着したものを選ぶか、をきいてみた。

その結果は表2-1のようになる。どの領域でもA：システム化したものより、B：自然や生活に密着したものが選ばれるという非システム化の傾向がある。またそれは、「A：サプリメントで栄養をつける」(7.0%) < 「B：食べ物で栄養をつける」(92.5%)、「A：恋人と電話やメールで話す」(7.2%) < 「B：恋人と会って話す」(91.5%)、「A：ロボットのペット」(8.3%) < 「B：動物のペット」(90.9%)、「A：ワープロで書かれた手紙」(9.3%) < 「B：手書きの手紙」(90.1%)のように、特に食物や人間関係、生物などの、直接身体にかかわるものに多い傾向がみられた。

またこれを特に性別でみると、表2-1にみられるように、女子は食物では、「やや高いが遺伝子組み換えをしていない食物」「食べ物で栄養をつける」「有機農法の形が悪く、やや高い野菜」「スローフード(ゆっくり出てくる手作りの料理)」など、自然や生活に密着したものを選んでいった。また女子は、人間関係でも「友だちと会って話す」「恋人と会って話す」「手書きの手紙」、生物でも「動

物のペット」「本物の花」「美顔ではないが整形手術はしていない恋人」という自然や生活に密着したものを選んでいった。なお社会制度では「やや高いが風力発電、太陽光などを使った電力」「教室で行う授業」を選んでいった。

このように女子は食物や人間関係、生物などの、直接身体にかかわるものについて、手触りがあるものを求める傾向が強いようであった。

部活動の状況別では文化部に、「食べ物で栄養をつける」「手作りのセーターやケーキのプレゼント」「美顔ではないが整形手術はしていない恋人」「やや高いが風力発電、太陽光などを使った電力」「ときどき間違いがあつたり時間がかかつたりするが、店員と気軽に話せる店」を選ぶ者が多かった。

理系・文系の志望別では、文系志望に「スローフード」「友だちと会って話す」「手書きの手紙」「本物の花」が多く、理系志望に「手作りのセーターやケーキのプレゼント」が多かった。このように高校生のシステム志向-非システム志向は、理系・文系の志望とは、強い関係はないようであった。

また成績別では、「ときどき間違いがあつたり時間がかかつたりするが、店員と気軽に話せる店」「教室で行う授業」が成績がよい生徒に多いのみで、高校生の非システム志向は、成績と強い関係はないようであった。

2 非システム志向のゆくえ

このような非システム志向については、すでにファストフード産業などを例にして、あまりにもシステム化された制度についての批判が行われている（G・リッツァ『マクドナルド化する社会』早稲田大学出版部、1999年）。しかし、これらの批判もその現状分析には鋭いものがあるにせよ、それではどうしたらいいかという「解決策」を明確に示しているわけではない。これから高校生がおとなになるにつれてますます科学技術が発達し、システム化された世界の中で生きていくことが考え

られる。その場合のシステム志向—非システム志向は、何を食べ、どのように人とつきあい、自然や社会制度の中でどのようなライフスタイルをつくっていくかなどの、自分により密着したところでの選択が問題になる、と思われる。

若者の非システム志向は、宗教志向などが「近代合理性への飽和」（見田宗介『新版 現代日本の精神構造』弘文堂、1984年）などといわれ、すでに1970年代からみられている。これらを「非合理主義」などとはとらえずに、さまざまな場面で自分に合った選択ができるように育てていくことが大切であろう。

◆表2-1 システム志向と非システム志向 × 性

		(%)		
		全体	男子	女子
社会制度	A：安い原子力発電を使った電力	23.0	30.0	> 15.6
	B：やや高いが風力発電、太陽光などを使った電力	76.4	70.0	< 84.4
	A：銀行の現金自動預け払い機（ATM）	48.6	48.4	> 49.3
	B：銀行員がいる窓口	50.9	51.6	> 50.7
	A：マニュアル通りの対応がしないが、便利なコンビニ	43.0	42.3	> 44.4
	B：ときどき間違いがあったり時間がかかったりするが、店員と気軽に話せる店	56.4	57.7	> 55.6
	A：テレビ画面による授業	13.3	16.5	> 9.8
	B：教室で行う授業	86.3	83.5	< 90.2
食 物	A：安い遺伝子組み替えをした食物	17.6	24.0	> 10.9
	B：やや高いが遺伝子組み替えをしていない食物	81.9	76.0	< 89.1
	A：サプリメントで栄養をつける	7.0	8.5	> 5.5
	B：食べ物で栄養をつける	92.5	91.5	< 94.5
	A：農業を使った形がよく、安い野菜	19.1	22.1	> 16.1
	B：有機農法の形が悪く、やや高い野菜	80.1	77.9	< 83.9
	A：ファストフード	28.2	30.5	> 26.2
	B：スローフード（ゆっくり出てくる手作りの料理）	71.1	69.5	< 73.8
人間関係	A：友だちと電話やメールで話す	12.1	15.4	> 8.7
	B：友だちと会って話す	87.2	84.6	< 91.3
	A：恋人と電話やメールで話す	7.2	8.6	> 6.0
	B：恋人と会って話す	91.5	91.4	< 94.0
	A：ワープロで書かれた手紙	9.3	15.5	> 2.6
	B：手書きの手紙	90.1	84.5	< 97.4
	A：ブランドの服やバッグのプレゼント	37.3	30.3	< 46.0
	B：手作りのセーターやケーキのプレゼント	61.4	69.7	> 54.0
生 物	A：ロボットのペット	8.3	10.1	> 6.6
	B：動物のペット	90.9	89.9	< 93.4
	A：造花	11.3	14.2	> 8.1
	B：本物の花	88.2	85.8	< 91.9
	A：整形手術をした美顔の恋人	16.2	23.1	> 9.5
	B：美顔ではないが整形手術はしていない恋人	81.4	76.9	< 90.5
	A：カゼをひいたときはすぐ薬を飲んで治す	44.5	45.3	> 44.3
	B：カゼをひいたときは温かくして寝て治す	54.8	54.7	> 55.7

——は90%以上のもの、不等号は危険率5%未満で有意な差があるもの

3

占いを信じるか

浜島 幸司

高校生の6割以上が、数ある占いの中で、どれか1つは信じている。占いは彼らの生活に浸透している。「金銭運」を筆頭に、占ってほしい項目への関心が強い。特に女子に占いへの関心が高い。だからといって、占いの結果を過信するようなことはない。社会に氾濫している占いに対して、距離をとった意識が読み取れる。

はじめに

未来のことが知りたいとき、私たちは占いに頼ることがよくある。占いが科学に基づいた方法や知識によっているとはいえない。しかし、人々の心をひきつけている。占いは、おまじないや迷信と関係が深く、古来の社会では、五穀豊穰・まつりごとの成功を祈り、重用された。占いは神聖なもので、一部の人のみしか利用することができなかった。占いとは、このような歴史をもっているのだが、それでは、現在の高校生にはどのように受けとめられているのだろうか。科学的知識が常識となった今、占いのような科学的とはいえない説明について、何を考えているのだろうか。本章では、それらについてみていくことにする。

1 信じる占いの種類

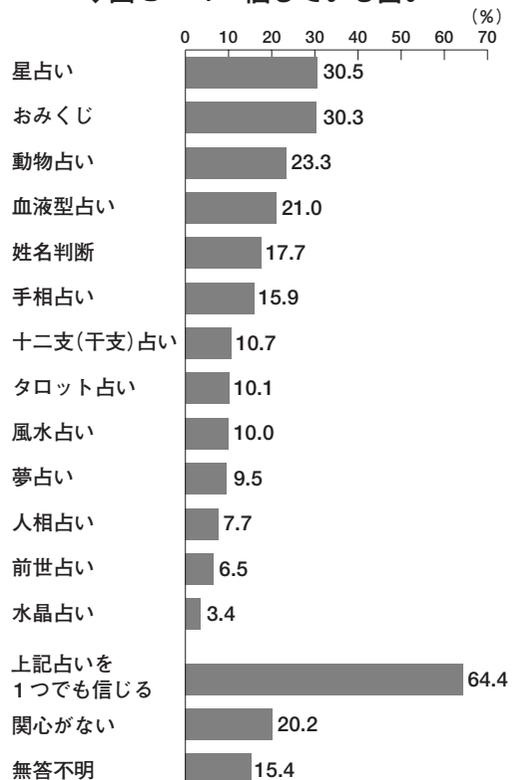
占いについて、実際にどのような種類があるのか、インターネットで検索してみると膨大な数のホームページがヒットした。今回、代表的な占い（風習や習慣も含めた）をいくつか用意して、それらを信じているかどうかみたものが図3-1である。

総数2,015名のうち、15.4%はどの選択肢にも回答しない「無答不明」サンプルであった。そして、1つも「関心がない」が20.2%であ

った。これらを差し引いた64.4%は、ここで挙げた占いについて、少なくとも1つは信じているということになる。

図3-1のように、全体で20%以上が信じている占いは、「星占い」「おみくじ」「動物占い」「血液型占い」の4つである。これらは馴染みのある占いであるといっただろ

◆図3-1 信じている占い



占いの種類については複数回答

う。一方、「夢占い」「人相占い」「前世占い」「水晶占い」などは、一部の高校生からの支持を受けている。占いの種類によって、信じる／信じないの差がみられる。これを表3-1にあるように、性別でみたところ、女子に多く占いを信じる傾向がある。

2 占ってほしい運勢

高校生が占ってほしい運勢にはどのようなものがあるのか。ここでは、6項目の運勢を挙げて、占ってほしいと思っているかどうかを尋ねた(表3-2)。その結果、「占ってほしい(ぜひ十どちらかといえば)」の回答が、どの項目も高い。最も低かった「未来運(家族全員の)」ですら、65.0%である。「金銭運」をはじめとして、占ってほしいと思う項目は多い。それだけ、将来というものに不安を感じ

ているのか、占いに頼りたい(決定するための選択肢が欲しい)ということなのだろうか。

占ってほしい運勢について、性別でみると、すべての項目で、女子の割合の方が高い。女子は運勢を気にするようである。

3 占いとのかかわり方

占いは高校生の日常に浸透しているようだ。そのかかわり方についてみていこう(図3-2)。この図から、占いがマスメディアで氾濫し、彼らが、それを受容している様子がわかる。しかし、ただむやみに占いを信用しているわけでもなさそうだ。図より、半数以上が、占いの結果を使い分けていることがわかる。同様に、占いが必ずしも当たるものでもないことも知っているし、絶えず感情に

◆表3-1 信じている占い × 性

	(%)		
	全体	男子	女子
星占い	30.5	20.4	41.6
おみくじ	30.3	24.1	37.1
動物占い	23.3	16.7	30.5
血液型占い	21.0	14.3	28.4
姓名判断	17.7	13.6	22.1
手相占い	15.9	12.2	20.0
十二支(干支)占い	10.7	10.9	10.4
タロット占い	10.1	7.4	13.1
風水占い	10.0	8.9	11.2
夢占い	9.5	5.5	13.9
人相占い	7.7	6.5	9.1
前世占い	6.5	5.5	7.5
水晶占い	3.4	3.5	3.3
上記占いを1でも信じる	64.4	52.0	78.0
関心がない	20.2	28.8	10.8
無答不明	15.4	19.2	11.2

占いの種類については複数回答
 ■ 全体の値よりも数値の高い属性のセルにアミをかけた

◆表3-2 占ってほしい運勢 × 性

	(%)		
	全体	男子	女子
金銭運	76.7	70.7	84.0
健康運	75.0	69.0	82.2
恋愛運	71.6	63.7	80.9
勉強運	71.2	64.0	79.6
相性運 (友だちと自分との)	70.8	64.3	78.9
未来運 (家族全員の)	65.0	60.2	70.7

「ぜひ」+「どちらかといえば」占ってほしい割合
 ■ 全体の値よりも数値の高い属性のセルにアミをかけた

訴えかけることもなさそうだ。ただ中には、占いの結果をもとに自分の予定を変える高校生もいるが、大半は、ある程度の距離をもってつきあっているといってよい。

女子は占いへの接触が多く、感情面にも影響があったりするが、使い分けもできているといってよいだろう。男子は、占いへの接触が少ないが、予定を変えてしまう回答がわずかであるが高い(表3-3)。

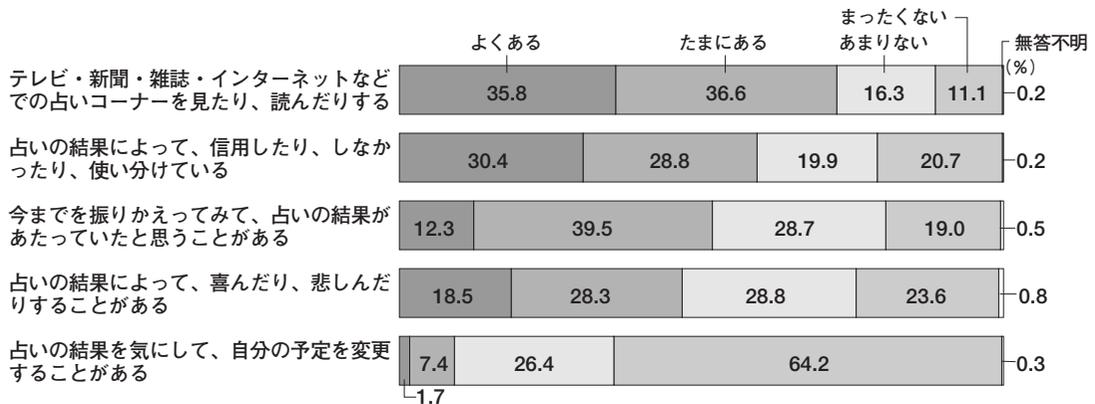
まとめ

以上から、現代社会に占いは浸透し、多くの高校生は何らかの占いを信じている。物事の説明には科学に基づいた方法や知識が用いられているのが日常であっても、占いが軽視されることはない。いや、占いも生活の一部

に組み込まれている。数ある占いによる運勢の説明というものにも高校生は興味・関心をもつ。しかし、彼らが占いを過信し、そこに没入するという意識はみられない。自分なりに占いの結果を使い分けたいこうとする姿が読み取れる。占いもブランド品と同じように、消費されているのである。とはいえ、占いをを使い分けたいつもりであっても、何かをきっかけにして、はまってしまうこともある。自分は大丈夫だと思う人ほど、一度没入すると抜けられなくなるものだ。占いとの距離の取り方について、今後も考えていく必要がある。

技術の開発・発展が進んでいる現在でも、今回の占いに関する質問項目で明らかとなったように、科学に基づいた方法や知識とは違うものも高校生は信じている。これが現代の姿である。

◆図3-2 占いとのかかわり方



◆表3-3 占いとのかかわり方 × 性

	全体		
	男子	女子	
テレビ・新聞・雑誌・インターネットなどでの占いコーナーを見たり、読んだりする	72.4	58.0	88.5
占いの結果によって、信用したり、しなかったり、使い分けしている	59.2	45.9	73.9
今までを振りかえてみて、占いの結果があたっていたと思うことがある	51.8	40.2	65.0
占いの結果によって、喜んだり、悲しんだりすることがある	46.8	36.2	59.0
占いの結果を気にして、自分の予定を変更することがある	9.1	9.9	8.4

「よく」+「たまに」ある割合
 全体の値よりも数値の高い属性のセルにアミをかけた

4

環境をどうとらえているか

穂坂 明德

1 ナチュラルへのこだわり

高校生の半数以上は、ふだんの生活で環境に配慮した行動を自分からとろうとしている。男子より女子の方が、また1年生よりも2年生の方が積極的である。

本章では高校生のライフスタイルにみられる環境意識を通して、科学技術観を探りたい。

今日、環境については、地域環境だけでなく地球規模の環境保全も21世紀的な課題とされる。環境問題の背景には、科学技術や産業活動の飛躍的な進歩発展、社会の急激な近代化などの諸要因が認められる。その意味で、高校生にとっての環境問題も、身近な生活の問題からグローバルな国際問題までを含めた、幅広い理解と認識が要請される。

ここではまず、高校生にとって身近な自然や学校生活における環境行動に目を向けてみたい。環境行動の意味はひとまず、「環境や環境問題に関心・知識をもち、環境保全に配慮した望ましい行動や態度」という程度に考

えておきたい。

表4-1は、高校生がふだん、自然とのふれあいや環境に配慮した行動をどのくらいしているかを尋ねた結果である。最も多かったのは、「公園や街路樹などの季節の自然の変化」に気づくことで63.6%に上る。学年、性別でみると1年生、女子の方が高い割合である。次に、「パソコン、携帯電話などのツールが使えないと不自由で困る」というもので60.4%である。しかしこれは、環境行動と区別し、むしろテクノロジーに強く依存した高校生のもう1つの生活断面とみるべきであろう。以下、半数以上の高校生にみられる環境行動は、「学校の教室や施設の無駄な点灯は消すようにしている」54.2%、「暑くてもク

◆表4-1 ふだんの環境行動×学年・性

	全体	学年別		性別	
		1年	2年	男子	女子
公園や街路樹などの季節の自然の変化が気になる	63.6	65.7	61.4	62.2	65.5
パソコン、携帯電話などのツールが使えないと不自由で困る	60.4	59.8	61.4	57.4	63.9
学校の教室や施設の無駄な点灯は消すようにしている	54.2	55.2	53.1	51.7	57.1
暑くてもクーラーの使用は控える	50.8	49.0	53.3	51.3	50.6
分別用のカゴがなくても、ごみを分別して捨てるようにしている	46.5	45.4	48.1	43.1	50.3
水道の水を飲むとき不安に思う	40.9	42.4	39.1	38.3	43.8
栄養バランスを考え、人工食品よりは自然食品を選択する	35.5	33.5	38.3	34.9	36.3
散歩やガーデニングなどで自然と直接ふれあう	19.6	18.7	20.7	18.1	21.2

「よく」＋「かなり」感じる(する)割合

ーラーの使用は控える」50.8%、さらには「分別用のカゴがなくても、ごみを分別して捨てるようにしている」46.5%が続く。このようにみると、高校生の半数近くは、かなり環境を配慮した、ナチュラルな行動を自分から進んでとっているようである。こうした行動は、男子よりも女子の方がはるかに積極的であり、また学年別ではどちらかというと1

年生より2年生の方が多いといえる。

一方、「散歩やガーデニングなどで自然と直接ふれあう」のように、自分から直接自然にふれあう行動をとる高校生は、2割程度である。こうした直接体験の機会を増やすことは、これからの環境問題を考えるためにも大きな課題といえそうである。

2 高校生も「スローライフ」

意識の上では、高校生は環境志向の生活を選択。とりわけ女子は、明らかに「スローライフ」を志向。食の安全が問われる今日、高校生は敏感に反応しているようだ。

農薬の使用が人間を含めた生物に長期的に影響を及ぼすことを最初に警告した、レイチェル・カーソン（米国の海洋生物学者、作家）の代表作『沈黙の春（Silent Spring）』以来、環境問題は社会問題として、人々の衣食住にかかわるライフスタイルの変更を迫っている。環境改善をシンボライズさせる「クリーン」「グリーン」「エコライフ」などの言葉が、広く好まれる時代になった。80年代以降、健康志向が高じて、女子高校生のみならず男子

にまで、モーニング・シャンプー現象が生まれた。高校生のふだんの行動にも、こうしたナチュラル、環境志向が芽生えていることは前節で確認された。

次に、それらがライフスタイル全体のなかで、どのような環境観としてうかがえるのかをみてみたい。

表4-2は環境について対立的な項目を並べて、どちらに賛成（あるいはどちらが好き）かを尋ねた結果である。エネルギーから食や

◆表4-2 ライフスタイルと環境観 × 学年・性・文理系

	全体	学年別		性別		文理系別	
		1年	2年	男子	女子	文系	理系
A：安いが原子力発電を使った電力	23.0	21.8	24.7	30.0	15.6	22.3	24.4
B：やや高いが風力発電、太陽光などを使った電力	76.4	78.2	75.3	70.0	84.4	77.7	75.6
A：安いが遺伝子組み替えをした食物	17.6	18.1	17.3	24.0	10.9	16.1	18.6
B：やや高いが遺伝子組み替えをしていない食物	81.9	81.9	82.7	76.0	89.1	83.9	81.4
A：サプリメントで栄養をつける	7.0	6.8	7.4	8.5	5.5	6.3	7.1
B：食べ物で栄養をつける	92.5	93.2	92.6	91.5	94.5	93.7	92.9
A：農薬を使った形がよく、安い野菜	19.1	20.7	17.4	22.1	16.1	17.9	19.9
B：有機農法の形が悪く、やや高い野菜	80.1	79.3	82.6	77.9	83.9	82.1	80.1
A：ファストフード	28.2	28.7	28.1	30.5	26.2	26.1	31.4
B：スローフード	71.1	71.3	71.9	69.5	73.8	73.9	68.6
A：カゼをひいたときはすぐ薬を飲んで治す	44.5	43.6	46.3	45.3	44.3	45.7	43.6
B：カゼをひいたときは温かくして寝て治す	54.8	56.4	53.7	54.7	55.7	54.3	56.4

(%)

賛成または好きと選択した割合

健康にかかわる全ての項目において、高校生には環境志向の生活を選択する傾向が現れている。すなわちこの結果に予想されるライフスタイルのモデルを描けば、次のようなものであろう。ソーラーハウスに居住し、自然食野菜を材料に、素朴だができるだけ素材の味を引きだした調理を工夫する。人工的な添加物はできるだけ控える。もっぱらバランスのとれた食事で栄養をとり、売薬などに依存しないで健康保持を心がける、というものである。

もちろん、明日にもこのようなライフスタイルが実践されるというわけではない。しかし、高校生も意識としては、かなり環境にやさしいライフスタイルを支持していることは確かであり、強調しておいてよい。こうした選択の傾向を高校生の属性に基づいてもう少

し詳しくみてみよう。学年差で比較的开きが出たのは、原発か自然エネルギーか、農薬使用野菜か有機野菜か、薬服用か自然治癒かという点であった。1年生は自然エネルギー、自然治癒を、2年生は有機野菜を選択する方が多かった。

一方、性別では全ての項目で、男子よりも女子に、環境にやさしいライフスタイルがより多く支持された。文系・理系別では、文系選択の高校生に環境型のライフスタイルが強く現れている。もっともこの傾向は、文系志望者に女子の割合が多い（女子66.1%>男子42.0%）という要因もたぶんに影響していると思われる。このようにみえてくると、女子にスローライフを強く支持する傾向があることは確かなようである。

3 環境問題と技術開発への評価

科学技術の発展は、将来的に自然再生エネルギー、燃料電池車などの普及、地震予知を可能にすると、高校生は予測している。環境問題は総合的な学習課題である。

現代の環境問題は、地球の埋蔵資源や化石燃料（注：何百億年も前の古代生物が蓄積してきた太陽光エネルギー。今日、石油、石炭や天然ガスとして採取される）が有限であり、再生不可能なエネルギーであるという現実から始まる。こうした化石燃料をエネルギー源にして、社会の近代化、科学技術の発展をはかってきた科学観そのものが、今日問われている。そこで、地球規模の環境認識や科学技術への将来性について、その実現性を尋ねた結果が表4-3である。

全体的には、「各家庭でも太陽熱や風力などの再生可能なエネルギー源が普及する」74.3%、「ガソリン車、ディーゼル車よりも燃料電池車が当たり前になる」65.7%、「地震などの予知技術の精度は限りなく完璧になる」55.7%などが、将来的には実現可能な技

術として評価された。これらの話題は、TV、新聞紙上でも昨今かなり取り上げられる機会が多い。高校生にとっては、マスメディアによる環境情報の学習効果は大きい。また、学年別では2年生よりも1年生の方が、また男女別では、男子の方に環境諸問題に対処できる技術開発の可能性を予測する傾向がみられた（「燃料電池車」男子68.8%>女子62.3%、「地震予知技術」男子57.3%>54.0%「きっとたぶんできる」割合）。

こうした環境問題の予測的な評価能力は、環境教育における問題解決能力の育成という面で重要である。成績別でみると、成績上位者は技術開発の可能性を肯定している。しかし、成績が中の上以下では必ずしも一貫した傾向は認められない。つまり教科的な学業成績の良し悪しだけで、環境問題が把握されて

いるわけではなさそうである。環境問題の特性は、単なる教科の枠を超えており、改めて環境教育の重要性が認められよう。

表は省略したが、文系・理系別にクロスをとると、全ての項目において文系志望者ほど高い割合を示している。とりわけ、「各家庭でも太陽熱や風力などの再生可能なエネルギーが普及する」（文系40.1%>理系28.0%）、「ガソリン車、ディーゼル車よりも燃料電池車が当たり前になる」（同34.9%>25.5%）、「地震などの予知技術の精度は限りなく完璧になる」（同29.6%>21.5%）などの上位3項

目をみると、環境技術の開発予測が文系志望者ほど高い評価であった。高校生レベルでは、必ずしも環境技術に関してどこまで理工学的な専門知識を有しての評価であるかは定かでない。むしろこうした結果からは、環境問題への総合的な関心が理系志望より文系志望の高校生に優位であるということに注目すべきであろう。環境教育が理系専門の科目にとどまらず、高校教育では幅広い視点から総合的な学習として取り組まれるべき根拠にもなる。

◆表4-3 環境問題と技術開発の将来予測 × 学年・成績

(%)

	全体	学年別		成績別				
		1年	2年	上	中の上	中	中の下	下
各家庭でも太陽熱や風力などの再生可能なエネルギーが普及する	74.3	74.5	74.2	75.3	75.6	76.0	78.0	65.2
ガソリン車、ディーゼル車よりも燃料電池車が当たり前になる	65.7	67.2	63.7	66.7	69.0	66.1	67.8	57.8
地震などの予知技術の精度は限りなく完璧になる	55.7	56.3	55.1	63.5	60.9	53.2	56.5	51.0
地球環境問題は開発途上国と先進国間の国際的な技術協力で解決できる	34.0	35.5	32.2	39.8	36.1	32.7	34.8	31.6
酸性雨や大気汚染などの現在以上の悪化は食い止められる	31.8	32.9	30.8	37.7	31.4	32.7	34.5	26.4
雨不足や日照不足などは人工的に調節できる	29.0	29.9	28.2	35.5	25.4	29.8	31.9	26.9
ごみの分別回収は完全燃焼技術の開発で必要なくなる	20.9	21.0	20.9	23.9	18.6	20.6	23.0	22.0
高度な技術進歩のおかげで開発途上国の工業化は深刻な公害問題を発生させない	21.0	22.3	19.2	26.9	21.0	21.0	21.8	19.0

「きつと」+「たぶん」できる割合

4 環境志向と科学技術観

理科離れが加速している中、環境志向の高校生ほど科学技術の進歩性や信頼性を評価する。環境意識の形成にも科学技術観がかなり影響している。

2004年1、2月に実施された内閣府の「科学技術と社会に関する世論調査」によれば、科学技術に関心がある割合は、30代51.9%、20代41.3%と若い世代ほど関心の低さが顕著である。関心の有無の差は、18、19歳ではさらに広がって、関心のある人は36.4%なのに、関心がない人は54.5%にも達している。理科離れはもとより科学技術そのものへの関心の希薄化が加速している。今後の環境問題を考えると、きわめて憂慮すべき傾向である。

その一方、本調査の結果は高校生の環境への配慮が、一部の限られた層の高校生ということではなく、一般の高校生にも広がる意識傾向として認められた。そこで、環境に配慮する意識の高い高校生とそうでない高校生の科学技術観を比較してみたい。

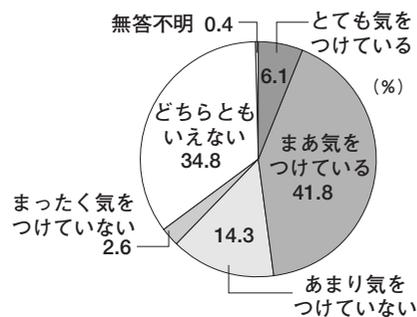
まず、図4-1は「環境や自然などの保護に、ふだんから気をつけている」かを尋ねた結果を示している。「気をつけている」層は、「とても」と「まあ」を合わせると47.9%、「気をつけていない」層は同様にして16.9%の割合である。また、「どちらともいえない」層は34.8%であった。

ここでは「気をつけている」層（＝環境型）と「気をつけていない」層（＝非環境型）にしばって、環境意識と科学技術観の関連性を明らかにしたい。関連性をより明示的にするために、表4-4にまとめたように、A～Eの5つの指標群を設定し、以下に示す手続きで数値化をはかった。指標は自然志向から科学技術への評価、地球環境への洞察などで構成されている。それぞれの指標をa、bの質問項目の肯定的な割合のデータを用いて数量化し、aとbを加算した値の平均値を各指標の数値とした（例：Aの値＝ $a + b / 2$ ）。そ

の結果は、A＝39.3/9.3、B＝47.2/36.7、C＝52.6/42.0、D＝65.6/21.6、E＝37.7/25.8（環境型/非環境型）となった。

それを図で比較したものが、図4-2である。環境型の高校生は、低い指標でも非環境型の高校生が描く線より10ポイント以上もの開きを示して、外縁に描かれた。すなわち、環境型の高校生は、科学技術に対しても自然や環境に対する志向性と同じように、進歩性や信頼性を高く評価する傾向のあることが明らかになった。高校生の環境意識の形成を考えると、その基底にどうやら科学技術に対する洞察力や信頼性が少なからず影響を及ぼしているようである。

◆図4-1 自然保護意識



(参考：学年別、性別、文理系列)

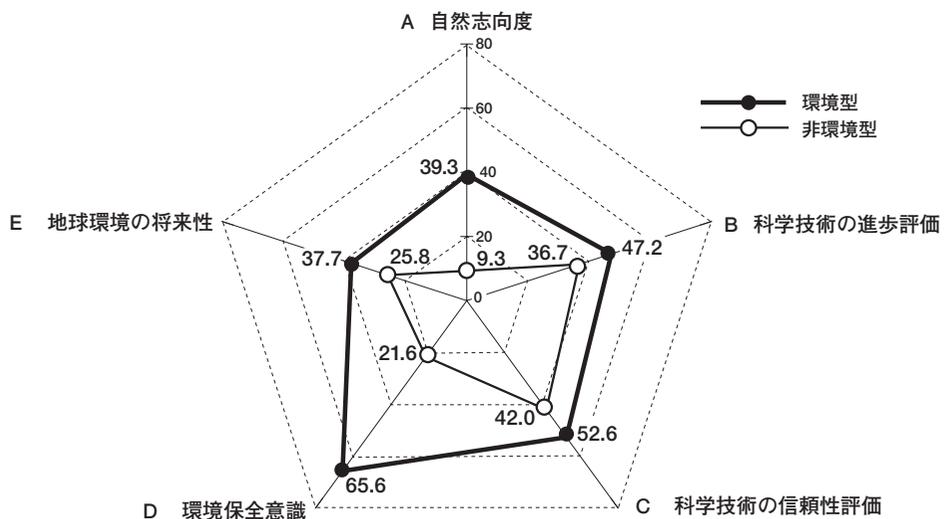
		気をつけていない (%)		
		気をつけている	気をつけていない	どちらともいえない
学年別	1年	47.2	17.3	35.4
	2年	49.1	16.6	34.4
性別	男子	47.5	18.0	34.4
	女子	48.6	15.9	35.6
文理系	文系	48.7	16.2	35.1
	理系	48.4	17.5	34.1

「気をつけている」＝「とても+まあ」気をつけている割合
「気をつけていない」＝「あまり+まったく」気をつけていない割合

◆表4-4 高校生の環境意識と科学技術観（指標別）

指標	指標項目	環境や自然保護		環境や自然保護	
		気をつけている (%)	a+b/2	気をつけていない (%)	a+b/2
A 自然志向度	a 散歩やガーデニングなどで自然と直接ふれあう	28.8	A 39.3	7.9	A 9.3
	b 栄養バランスを考え、人工食品より自然食品を選択する	49.8		10.6	
B 科学技術の進歩評価	a ガソリン車、ディーゼル車よりも燃料電池車が当たり前になる	70.5	B 47.2	57.2	B 36.7
	b 高度な技術進歩のおかげで開発途上国の工業化は深刻な公害問題を発生させない	23.8		16.2	
C 科学技術の信頼性評価	a 地震などの予知技術の精度は限りなく完璧になる	58.8	C 52.6	52.5	C 42.0
	b 水道の水を飲むとき不安に思う	46.4		31.5	
D 環境保全意識	a ごみの分別回収は完全燃焼技術の開発で必要なくなる	61.6	D 65.6	19.1	D 21.6
	b 学校の教室や施設の無駄な点灯は消すようにしている	69.5		24.1	
E 地球環境の将来性	a 地球環境問題は開発途上国と先進国間の国際的な技術協力で解決できる	39.9	E 37.7	24.6	E 25.8
	b 酸性雨や大気汚染などの現在以上の悪化は食い止められる	35.4		27.0	

◆図4-2 環境型と非環境型の高校生の比較



5

セキュリティとプライバシー

岩田 考

1 監視カメラ設置の認知度と必要性

高校生は、防犯カメラや監視カメラを、現在よりもさらにさまざまな場所に設置する必要があると感じている。

近年、テロや犯罪に対する不安感が増すなかで、防犯カメラや監視カメラなど監視技術によって、セキュリティを確保しようとする動きが強まっている。しかし、そうした技術は我々の自由を制限する側面をもっている。高校生はどのように、テクノロジーと自由との関係をとらえているのだろうか。

図5-1は、防犯カメラや監視カメラが設置されているのを見たことがある場所と設置の必要な場所を尋ねたものである。

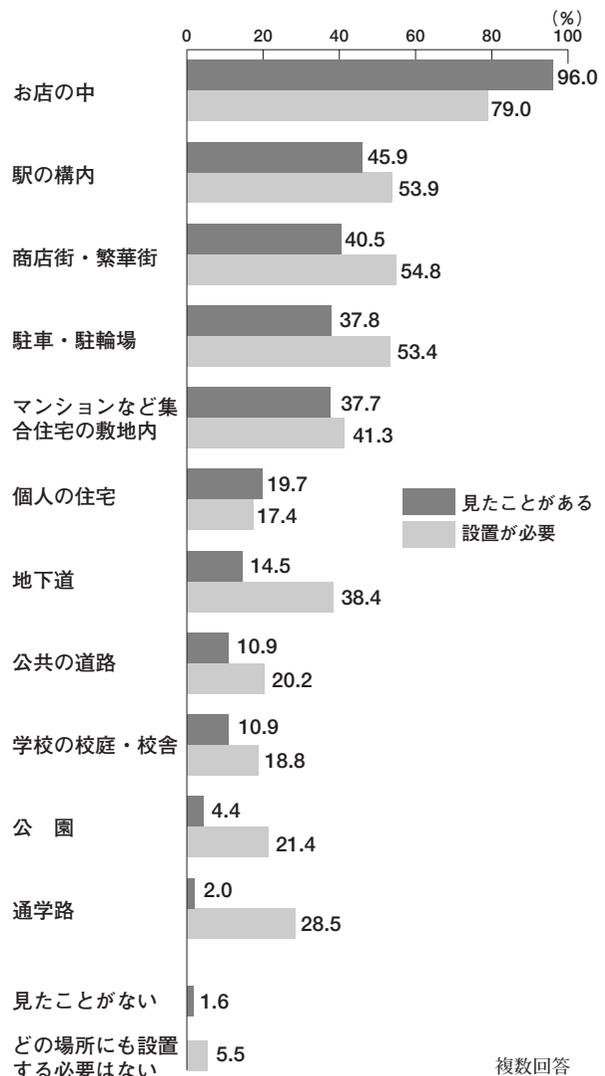
さまざまな場所に設置された監視カメラの存在を認知している高校生は多い。まったく「見たことがない」と回答した高校生は1.6%で非常に少なくなっている。

また、「どの場所にも設置する必要はない」とする者は5.5%と少数であり、11の場所のうち、4項目において選択率が5割を超えている。「通学路」や「地下道」は、必要とする割合が認知度を20ポイント以上上回っている。

東京の2つの高校では、「学校の校庭・校舎」における認知度が約2割で、設置が必要とする者は4分の1以上となっている。

「お店の中」と「個人の住宅」を除く全ての場所において、監視カメラについての認知度よりも、設置が必要とする割合が高くなっている。監視カメラに関して、その必要性を認める意識が強いことがわかる。

◆図5-1 監視カメラの認知と必要性



2 セキュリティとプライバシー

防犯カメラや監視カメラの設置に関する意識をみると、高校生はプライバシーよりも、犯罪の抑制や検挙率の向上などセキュリティを重視する傾向が強い。

図5-2は、防犯カメラや監視カメラの設置をめぐる意識を尋ねたものである。

前節でみたように、さまざまな場所で設置の必要があるとしている高校生だが、設置基準が必要とする者(そう思う+まあそう思う)の割合は、86.6%と高くなっている。

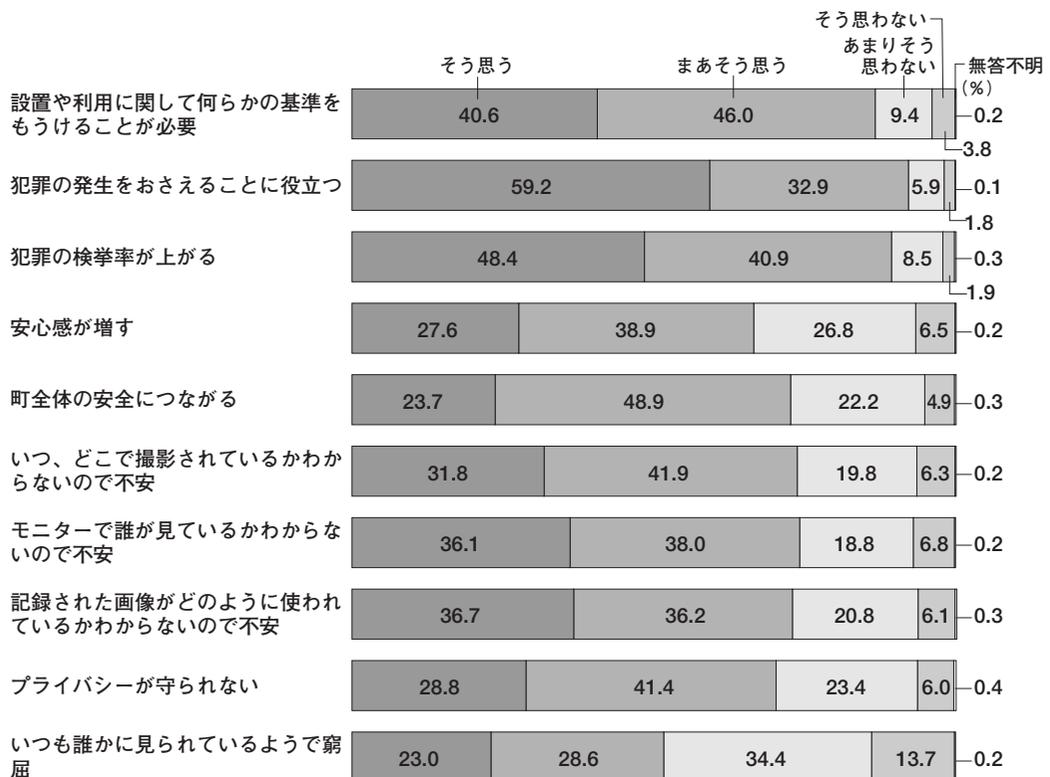
セキュリティを重視するような意識をみると、犯罪の抑制(92.1%)や検挙率の向上(89.3%)に役立つとする者が多い。他方、漠然とした安心感(66.5%)や地域の安全(72.6%)と結びつける意識はあまり強くない。

プライバシーにかかわるような項目をみると、監視されることにかかわる不安は、3項

目とも肯定率が約4分の3と犯罪の抑制や検挙率の向上などに比べると低くなっている。プライバシーが守られない(70.2%)や窮屈で自由を制限される(51.6%)というような意識では、さらに肯定率は低くなっている。

全体としては、プライバシーよりもセキュリティを重視する傾向が強い。監視技術のさらなる高度化が予想されるなか、こうした傾向は我々の社会の「自由」をどのように変えていくのであろうか。携帯電話やインターネットなど情報通信技術にかかわるセキュリティとプライバシーの問題なども含め、今まさに議論すべき課題といえよう。

◆図5-2 監視カメラをめぐるセキュリティとプライバシー



6

高校生の好きなもの

武内 清

高校生が好きなものの上位には、人間の行動にかかわるものや自然にかかわるものがある。また、科学の素材となるものへの関心はある程度あるが、それを学ぶ基礎になる理系教科は好きではないようだ。ただ、男子は女子に比べ科学的なことへの関心の割合が高く、また、理系志望の者は文系志望の者に比べ、理系教科が好きで、科学的なことへの関心も高い。

1 4つの因子

「あなたは、次のようなものが好きですか」という質問文で、雑多なもの（動物や植物など生き物から、数学や化学など教科、ゲームやパソコンなどの道具、スポーツや旅行など）11項目について、「とても好き」「かなり好き」「どちらともいえない」「あまり好きでない」

「ぜんぜん好きでない」の5段階で答えてもらった。

この11項目の回答を主成分分析にかけてみると、表6-1のように、4つの要素からなることがわかる。第1因子は自然、第2因子は理系教科、第3因子はゲーム、第4因子は人間の行動である。

◆表6-1 「好き」の主成分分析

	成分				共通性
	自然	理系教科	ゲーム	人間の行動	
植 物	0.849	0.003	0.017	0.045	0.724
自然界のさまざまな現象	0.717	0.261	0.027	-0.031	0.584
動 物	0.658	-0.144	0.101	0.248	0.526
工作やものをつくること	0.416	0.301	0.290	0.125	0.363
数 学	0.043	0.889	0.069	0.057	0.800
化 学	0.069	0.883	0.131	-0.055	0.805
ゲーム	0.053	0.151	0.854	0.057	0.758
パソコン	0.086	0.042	0.852	-0.045	0.737
人 間	0.015	0.010	-0.053	0.752	0.569
スポーツ	0.025	0.115	0.144	0.731	0.569
旅 行	0.352	-0.152	-0.078	0.635	0.557
初期の固有値	2.64	1.90	1.23	1.22	6.99
分散の%	24.0	17.2	11.2	11.1	63.6

■は数値の大きいもの

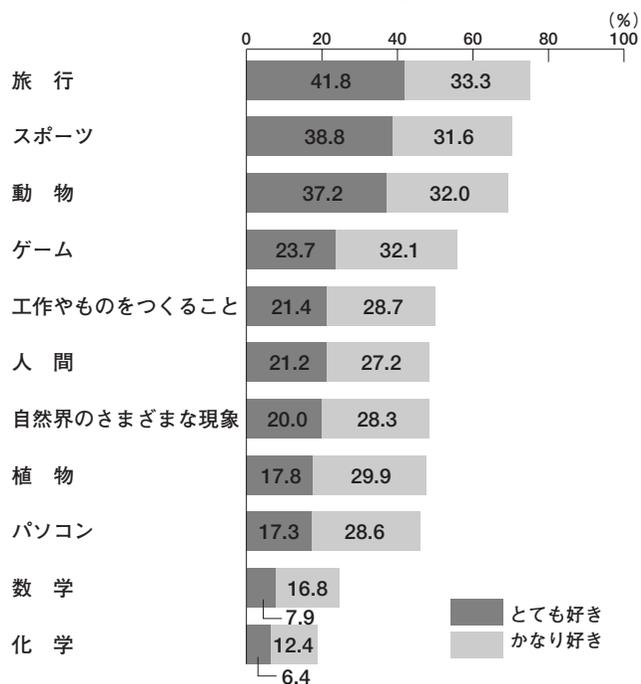
2 全体の「好き」の傾向

全体の回答を、「とても好き」と「かなり好き」を合わせた「好き」の多い順に並べると、図6-1のようになる。

「旅行」「スポーツ」といった人間の行動の第4因子が一番好まれている。次いで第1因子の「動物」好きが続く。同じく第1因子の「自然界のさまざまな現象」の「好き」は48.3%と5割の生徒が関心をもっている。しかし、第2因子の「数学」「化学」といった理系教科となると「好き」は極めて少なくなる。

今の高校生が科学の素材となるものへは関心はある程度あるが、それを学ぶ基礎になる理系教科は好きではないことがわかる。

◆図6-1 「好き」なもの



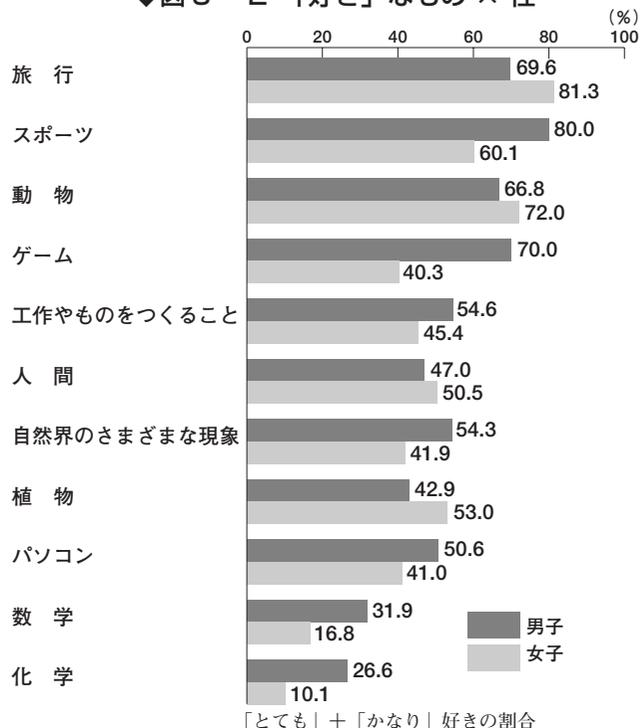
3 男女別「好き」の傾向

この11項目の「好き」を男女別にみたのが、図6-2である。

女子より男子に「好き」が多いのは、「ゲーム」(差29.7ポイント)、「スポーツ」(差19.9ポイント)、「化学」(差16.5ポイント)、「数学」(差15.1ポイント)、「自然界のさまざまな現象」(差12.4ポイント)、「パソコン」(差9.6ポイント)、「工作やものをつくること」(差9.2ポイント)である。科学的なものが、男子に好かれていることがわかる。

逆に男子より女子に「好き」が多いのは、「旅行」(差11.7ポイント)、「植物」(差10.1ポイント)、「動物」(差5.2ポイント)、「人間」(差3.5ポイント)であり、人間的な生物学的なものが好まれている。

◆図6-2 「好き」なもの×性



「とても」+「かなり」好きの割合

4 文系・理系別「好き」の割合

理系志望か文系志望か別に、「好き」の割合をみたのが、表6-2である。

理系志望の者が文系志望の者より「好き」の項目が圧倒的に多く、差の大きい順に並べると、「数学」（差38.2ポイント）、「化学」（差30.2ポイント）、「ゲーム」（差16.3ポイント）、「工作やものをつくること」（差12.8ポイント）、「自然界のさまざまな現象」（差12.2ポイント）、「パソコン」（差7.0ポイント）、「動物」（差3.1ポイント）、「スポーツ」（差2.8ポイント）、「植物」（差0.3ポイント）である。

逆に文系志望の者が理系志望の者より「好き」が多いのは、「人間」（差9.5ポイント）

と「旅行」（差8.8ポイント）である。

まとめ

①自然現象への関心と、理系教科の好きは別のことで、高校生の前者への関心は高く、後者への関心は低い。

②男子は女子に比べ、科学的なことへの関心の割合が高い。

③理系志望の者は文系志望の者に比べ、理系教科が好きで、科学的なことへの関心も高い。文系志望の者も人間や生物への関心は高いので、それを梃子に科学への志向へ高めることは可能であろう。

◆表6-2 「好き」なもの×文理系

	(%)		
	理系	文系	差
旅行	70.5	79.3	-8.8
スポーツ	72.3	69.5	2.8
動物	71.1	68.0	3.1
ゲーム	65.1	48.8	16.3
工作やものをつくること	57.1	44.3	12.8
人間	43.5	53.0	-9.5
自然界のさまざまな現象	54.9	42.7	12.2
植物	47.7	47.4	0.3
パソコン	50.3	43.3	7.0
数学	46.9	8.7	38.2
化学	37.0	6.8	30.2

「とても」＋「かなり」好きの割合

まとめ

メカ社会の中で「ナマ」へのあこがれ

深谷 昌志

●主な調査結果

高校生はメカに囲まれて生活している。それだけに、高校生がメカをどう感じているのかを確かめてみた。調査結果から主なものを拾いだしてみよう。

①生楽器と電子楽器＝「どちらが『音楽の音』としていいと思うか」について生楽器が76.3%なのに対し、電子楽器は9.0%にとどまる。ちなみに、コンサートやライブで演奏した音とCD用にスタジオで演奏した音では前者65.1%、後者23.4%にとどまる(図1-2)。

②サプリメントと食べ物＝サプリメントと食べ物では、「サプリメントで栄養をつける」が7.0%なのに対し、「食べ物で栄養をつける」が92.5%に達する(表2-1)。

③メールと会う＝「恋人と会って話す」と「恋人と電話やメールで話す」とでは、前者91.5%で後者が7.2%である。現在の高校生でも、メールでの会話より、直接会うことを支持している(表2-1)。

④占い＝「星占い」を信じている生徒は30.5%、「おみくじ」が30.3%と、予想以上に多くの生徒が占いを信じていた。「関心がない」は20.2%にとどまる(図3-1)。

⑤有機農法＝「農薬を使った形がよく、安い野菜」と「有機農法の形が悪く、やや高い野菜」との対比では19.1%と80.1%で、有機農法を支持する者が8割を超える(表4-2)。

⑥セキュリティ＝「設置や利用に関して何らかの基準をもうけることが必要」(86.6%)だが、「犯罪の発生をおさえることに役立つ」(92.1%)と、有効性を認めながら、乱用を規制する態度を示している(図5-2)。

⑦好きなもの＝好きなものの1位は「旅行」、次いで「スポーツ」、3位は「動物」である(図6-1)。全体に人間的なものが好きという反応が目につく。

●「ナマ」を大事にしたい

上記の7項目の中から、②のサプリメントについて考えてみよう。若い人の中に、サプリメントマニアのような人が少なくない。ナマの食べ物を毛嫌いして、サプリメントを山のように飲み込む。サプリメント信仰とでもいうのか、サプリメントを飲んでさえいれば健康を保てるように思っているようにみえる。そうした生徒がかなりを占めると思ったのだが、サプリメント派は7.0%にすぎない。

また、③のメールについては、高校生がメール命とでもいう感じで、ケータイのメールを打ち続ける姿を見かけることが少なくない。ナマで会うより、メールの方が気持ちを伝えられると思っているのではないか。しかし、メール派は7.2%にとどまった。

高校生はメカニックな世界で暮らしている。しかし、本当はナマにあこがれに近い感じを抱いているのがわかる。メカの中に身を置いているが、メカをよいと思っているのではなく、本当はメカに不信感や不快感を抱いている。

若い人たちも自然の暮らしにあこがれに近い気持ちをもっている。こうした結果に、ほっと救われた感じがした。そうした反面、多くの高校生の生活をイメージすると、データの結果との距離を感じる。

ナマがよいというのは簡単だ。しかし、サプリメントを例にすると、自然食を食べるに

は、材料を仕入れ、料理する過程が加わる。自分が家庭をもったとき、有機栽培を大事に食生活をまかなうとするなら、インスタント食品やできあいの惣菜を避け、素材を吟味することから始まる。

見方によれば、ナマは、能率がよくないし、コストも高い。したがって、ナマを大事にしようとするなら、ナマを尊重する生活を始めなければならない。スローガンのように「ナマが好き」というだけでは、状況はよくなるしない。

①メールに頼る割合を減らし、直接友だち

と会って話をしよう

②コンビニのインスタント食品を減らし、自然の食品を食べるようにしよう

③何でもよいから、自分を表現できる音楽や絵画などに親しもう

④屋外に出て、身体を動かそう

⑤家にいるとき、家事を手伝おう

⑥何かボランティア活動に参加しよう

こうした生活を重ねることがナマを大事にすることである。ナマにあこがれる高校生の気持ちが行動と一致することを願いたいと思った。

調査票見本

※本調査票の無断使用を禁じます。

アンケートのお願い

このアンケートは、高校生に、科学・技術社会について
おたずねするためにつくったものです。

あなたの大切な時間をいただいて申しわけありませんが、
ご協力くださいますようお願い申し上げます。

(お名前はいりませんので、ありのままをお答えください)

高校教育研究会

東京成徳大学教授

上智大学教授

明治学院大学教授

深谷昌志

武内清

望月重信

《回答のしかた》特にことわりのない場合は、あてはまる数字に1つだけ○をつけてください。

4 あなたは、次のような理由で、CDを買ったり、インターネットや携帯電話から音楽をダウンロードしたりすることがありますか。

- | | よく
ある | やや
ある | あまり
ない | まったく
ない |
|---|----------|----------|-----------|------------|
| 1. 好きなアーティストの音楽だから…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 音楽番組などで聴いて気に入ったから…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. お店で試聴して気に入ったから…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. お店でジャケットを見て興味をもったから…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 友だちに薦められたから…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. インターネットで検索して気に入ったから…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. インターネットで検索してとりあえずおさえて
おこうと思ったから…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8. 携帯電話で「着うた」などを検索して気に入った
から…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9. 携帯電話で「着うた」などを検索してとりあえず
おさえておこうと思ったから…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 10. ヒットしているから…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 11. コンサートやライブで聴いて気に入ったから…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 12. コンサートやライブが身近で行われていないので、
その代わりとして…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |

5 あなたは、次にあげるような音を「本物」だと思いますか。

- | | 絶対
「本物」だ | 「本物」だと
いえる | 「本物」とは
いい難い | 絶対「本物」
ではない |
|--------------------------------------|-------------|---------------|----------------|----------------|
| 1. コンサートやライブで「生楽器」で演奏
している音…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. コンサートやライブで「電子楽器」で演奏
している音…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. テレビの音楽番組で放送されている楽曲の音… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. CDに録音されている楽曲の音…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. インターネットで配信される楽曲の音…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. 携帯電話の「着うた」などの音…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. 自分でCD-RやMDなどにダビングした音…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |

6 音楽の音として、あなたは以下にあげるAとBのどちらの方がいいと思いますか。

Aの方が
いい
 どちらかとい
えればA
の方がいい
違いが
わからない
どちらかとい
えればB
の方がいい
Bの方が
いい

1. A : 「生楽器」の音
B : 「電子楽器」の音…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
2. A : コンサートやライブで演奏した音
B : CD用にスタジオで演奏した音…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
3. A : 「着メロ」や「着うた」などの
携帯電話の音
B : コンポで聴くCDの音…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
4. A : 「生楽器」を演奏して出す音
B : コンピュータでつくった、
「生楽器」とまったく同じ音…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5

II. 次に、占いについての気持ちをおたずねします。

7 次にいろいろな占いが書いてあります。この中で、その占いの結果を信じているものに○をつけてください。(○はいくつつけても、1つもつけなくてもかまいません)

- | | | |
|---------------|-----------|-----------|
| 1. 動物占い | 2. 星占い | 3. 手相占い |
| 4. 人相占い | 5. タロット占い | 6. 風水占い |
| 7. 姓名判断 | 8. 夢占い | 9. おみくじ |
| 10. 十二支(干支)占い | 11. 水晶占い | 12. 血液型占い |
| 13. 前世占い | 14. 関心がない | |

8 それでは、あなたは次のようなことを占ってほしいと思いますか。

ぜひ
占ってほしい
 どちらかとい
えれば
占ってほしい
どちらかとい
えれば
占ってほしくない
ぜんぜん
占ってほしくない

1. 恋愛運…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
2. 勉強運…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
3. 健康運…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
4. 相性運(友だちと自分との)…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
5. 未来運(家族全員の)…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4
6. 金銭運…………… 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4

- 9 あなたと占いとのかかわりについておたずねします。次のようなことは、どの程度ありますか。

	よく ある	たまに ある	あまり ない	まった く ない
1. テレビ・新聞・雑誌・インターネットなどで の占いコーナーを見たり、読んだりする……………	1	2	3	4
2. 占いの結果によって、信用したり、しなかつ たり、使い分けている……………	1	2	3	4
3. 占いの結果によって、喜んだり、悲しんだり することがある……………	1	2	3	4
4. 今までを振りかえてみて、占いの結果が あたっていたと思うことがある……………	1	2	3	4
5. 占いの結果を気にして、自分の予定を変更 することがある……………	1	2	3	4

Ⅲ. 次に、商店や、街頭、道路、学校などさまざまところに設置される
防犯カメラや監視カメラについておたずねします。

- 10 あなたは、次のような場所に、防犯カメラや監視カメラが設置されているのを見たことが
ありますか。(12を除き、○はいくつつけてもかまいません)

- | | | |
|-------------|------------------------------|-------------|
| 1. 公園 | 2. 商店街・ ^{はんかがい} 繁華街 | 3. お店の中 |
| 4. 駐車・駐輪場 | 5. 駅の構内 | 6. 公共の道路 |
| 7. 地下道 | 8. 通学路 | 9. 学校の校庭・校舎 |
| 10. 個人の住宅 | 11. マンションなど集合住宅の敷地内 | |
| 12. 見たことがない | | |

- 11 あなたは、次のような場所に、防犯カメラや監視カメラの設置が必要だと思いませんか。
必要があると思う場所に○をつけてください。(12を除き、○はいくつつけてもかまいま
せん)

- | | | |
|---------------------|------------------------------|-------------|
| 1. 公園 | 2. 商店街・ ^{はんかがい} 繁華街 | 3. お店の中 |
| 4. 駐車・駐輪場 | 5. 駅の構内 | 6. 公共の道路 |
| 7. 地下道 | 8. 通学路 | 9. 学校の校庭・校舎 |
| 10. 個人の住宅 | 11. マンションなど集合住宅の敷地内 | |
| 12. どの場所にも設置する必要はない | | |

12] あなたは、防犯カメラや監視カメラの設置について、どのように思いますか。

- | | そう
思う | まあ
そう思う | あまりそう
思わない | そう
思わない |
|--|----------|------------|---------------|------------|
| 1. 設置や利用に関して何らかの基準をもうけることが
必要…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 犯罪の発生をおさえることに役立つ…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 犯罪の ^{けんさ} 検挙率が上がる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 安心感が増す…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 町全体の安全につながる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. いつ、どこで撮影されているかわからないので不安… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. モニターで誰が見ているかわからないので不安…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8. 記録された画像がどのように使われているか
わからないので不安…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9. プライバシーが守られない…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 10. いつも誰かに見られているようで ^{きゅうくつ} 窮屈…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |

IV. 次に、あなたの気持ちをおたずねします。

13] あなたは、次のようなものが好きですか。

- | | とても
好き | かなり
好き | どちらとも
いえない | あまり
好きでない | ぜんぜん
好きでない |
|---------------------|-----------|-----------|---------------|--------------|---------------|
| 1. 動物…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 植物…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 自然界のさまざまな現象…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. 数学…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. 化学…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. 工作やものをつくること…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. ゲーム…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. パソコン…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9. スポーツ…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 10. 旅行…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 11. 人間…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

14 あなたは将来、次のようなことができるようになると思いますか。

- | | きつと
できる | たぶん
できる | わからない | たぶん
できない | ぜったい
できない |
|--|------------|------------|-------|-------------|--------------|
| 1. 地震などの予知技術の精度は限りなく
完璧になる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 雨不足や日照不足などは人工的に調節
できる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 酸性雨や大気汚染などの現在以上の悪化
は食い止められる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. 各家庭でも太陽熱や風力などの再生可能
なエネルギー源が普及する…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. ごみの分別回収は完全燃焼技術の開発で
必要なくなる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. ガソリン車、ディーゼル車よりも燃料
電池車が当たり前になる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. 地球環境問題は開発途上国と先進国間の
国際的な技術協力で解決できる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. 高度な技術進歩のおかげで開発途上国の
工業化は深刻な公害問題を発生させない…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

15 あなたは日頃から、次のようなことがありますか。

- | | よく
感じる | かなり
感じる | あまり
感じない | ほとんど
感じない |
|---|-----------|------------|-------------|--------------|
| 1. 公園や街路樹などの季節の自然の変化が気になる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 水道の水を飲むとき不安に思う…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. パソコン、携帯電話（PHSを含む）などのツール
が使えないと不自由で困る…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 散歩やガーデニングなどで自然と直接ふれあう…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 暑くてもクーラーの使用は控える…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. 栄養バランスを考え、人工食品よりは自然食品を
選択する…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. 分別用のカゴがなくても、ごみを分別して捨てる
ようにしている…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8. 学校の教室や施設の無駄な点灯は消すようにして
いる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |

16 あなたは、環境や自然などの保護に、ふだんから気をつけている方だと思いますか。

とても気をつけている	まあ気をつけている	どちらともいえない	あまり気をつけていない	まったく気をつけていない
1	2	3	4	5

17 あなたは、将来の地球環境に対して、どのように感じていますか。

とても楽観している	かなり楽観している	あまり楽観していない	まったく楽観していない	わからない
1	2	3	4	5

V. もう少し、あなたの気持ちをおたずねします。

18 あなたは、次にあげるAとBのどちらに賛成（あるいはどちらが好き）ですか。賛成（好き）の方に○をつけてください。

1. A：安い原子力発電を使った電力
B：やや高い風力発電、太陽光などを使った電力
2. A：銀行の現金自動預け払い機（ATM）
B：銀行員がいる窓口
3. A：マニュアル通りの対応しかしなが、便利なコンビニ
B：ときどき間違いがあったり時間がかかったりするが、店員と気軽に話せる店
4. A：テレビ画面による授業
B：教室で行う授業
5. A：安い遺伝子組み替えをした食物
B：やや高い遺伝子組み替えをしていない食物
6. A：サプリメントで栄養をつける
B：食べ物で栄養をつける
7. A：農薬を使った形がよく、安い野菜
B：有機農法の形が悪く、やや高い野菜
8. A：ファストフード
B：スローフード（ゆっくり出てくる手作りの料理）

9. A：友だちと電話やメールで話す
B：友だちと会って話す
10. A：恋人と電話やメールで話す
B：恋人と会って話す
11. A：ワープロで書かれた手紙
B：手書きの手紙
12. A：ブランドの服やバッグのプレゼント
B：手作りのセーターやケーキのプレゼント
13. A：ロボットのペット
B：動物のペット
14. A：造花
B：本物の花
15. A：整形手術をした美顔の恋人
B：美顔ではないが整形手術はしていない恋人
16. A：カゼをひいたときはすぐ薬を飲んで治す
B：カゼをひいたときは温かくして寝て治す

VI. 最後に、あなたのことをおたずねします。

19 あなたは日頃、次のようなことがどの程度あてはまりますか。

- | | とても
ある | わりと
ある | ときどき
ある | あまり
ない | ぜんぜん
ない |
|----------------------------------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|
| 1. 自分がひとりぼっちのようで不安になる… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 自分の居場所がないように感じる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 今の生活がむなしく感じる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. 何かを決めるとき、なかなか決められず
困る…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. 自分の感情をコントロールできない…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. 学校にいるとイライラする…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. お小遣いは計画的に使う…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. 校則に決められた通りに制服を着る…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9. 茶髪にしたりパーマをかける…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

20 あなたは、高校生として、どんなタイプだと思いますか。

- | | とても
そう | わりと
そう | 少し
そう | あまり
そうでない | ぜんぜん
そうでない |
|--------------------------|-----------|-----------|----------|--------------|---------------|
| 1. 行動力がある…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. おしゃれな方だ…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 異性から人気がある…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. 友だちが多い…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. 努力型だ…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. 校則は守っている…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. 友だちから信頼されている…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. 友だちやクラスをひっぱる力がある…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9. 先生から信頼されている…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 10. スポーツが得意だ…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

21 あなたは、学校で部活動をしていますか。

1. 運動部に入って熱心に活動している
2. 運動部に入っているが、あまり熱心に活動していない
3. 文化部に入って熱心に活動している
4. 文化部に入っているが、あまり熱心に活動していない
5. 以前入っていたが、今は入っていない
6. 入ったことがない
7. その他

22 あなたの成績は、どのあたりですか。

- | 上 | 中の上 | 中 | 中の下 | 下 |
|---|-----|---|-----|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

23 あなたはこれから先、どんな人生を送れそうですか。

- | | とても
無理だろう | かなり
無理だろう | やや
無理だろう | たぶん
可能だろう | きっと
可能だろう |
|-----------------------|--------------|--------------|-------------|--------------|--------------|
| 1. いわゆる一流大学へ入学する…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 大企業に就職する…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. よい相手と結婚する…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. 仕事の面で成功する…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. 幸せな家庭を作る…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. よい親になる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. 経済的にとても豊かになる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. 社会的に認められる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

24 あなたは、理系・文系のどちらを志望しますか。

- | ぜったい
理系 | まあ
理系 | どちらとも
いえない
(わからない) | まあ
文系 | ぜったい
文系 | その他 |
|------------|----------|--------------------------|----------|------------|-----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

25 あなたは、高校卒業後の進路をどう考えていますか。

1. 入るのが難しい4年制大学
2. ふつう程度の4年制大学
3. 入るのがやさしい4年制大学
4. 短期大学
5. 専修学校・専門学校
6. 就職
7. 家業の手伝いなど
8. フリーター
9. きちんと考えたことがない
10. その他

～これで終わりです。長い間どうもありがとうございました。～

学年・性別集計表

単位：サンプル数、学年、性別以外はパーセント。
無答不明は表から省略した。

質問項目		全体	性別		学年別			
			男子	女子	1年	2年		
サンプル数		2,015	1,053	962	1,126	889		
1	学年	1. 1年	1,126	597	529			
		2. 2年	889	456	433			
	性別	1. 男子	1,053			597	456	
		2. 女子	962			529	433	
2	習小 つた り、 中 学 校 の 音 楽 の 授 業 以 外 に 、 音 楽 を	高校の芸術の授業で音楽を選択する	1. 現在している	39.8	37.1	43.3	39.4	40.8
		2. かつてしたことがある	2.7	2.2	3.4	1.6	4.2	
		3. したことがない	56.8	60.7	53.4	59.0	55.0	
	学校で音楽系のクラブ活動や部活動に参加する	1. 現在している	10.3	4.6	16.6	11.1	9.4	
		2. かつてしたことがある	15.5	8.3	23.8	15.6	15.8	
		3. したことがない	73.3	87.1	59.6	73.2	74.8	
	ピアノを習う	1. 現在している	6.9	1.5	13.0	7.3	6.7	
		2. かつてしたことがある	35.4	19.2	53.6	33.3	38.7	
		3. したことがない	56.8	79.2	33.4	59.4	54.6	
	ピアノ以外の楽器を習う	1. 現在している	4.9	3.2	6.8	5.1	4.6	
		2. かつてしたことがある	12.1	10.5	14.0	12.5	11.8	
		3. したことがない	82.2	86.4	79.2	82.4	83.6	
歌（声楽）を習う	1. 現在している	1.6	1.4	1.8	1.9	1.3		
	2. かつてしたことがある	5.8	4.7	7.2	5.7	6.2		
	3. したことがない	91.2	93.8	91.1	92.4	92.6		
3	ふだん、次のようなことをどれくらいするか	コンサートやライブに行く	1. 毎日のようにする	0.2	0.2	0.2	0.3	0.1
			2. よくする	3.1	1.7	4.6	2.7	3.6
			3. ときどきする	21.7	14.8	29.5	18.2	26.4
			4. あまりしない	12.4	11.9	13.0	12.0	13.0
			5. ほとんどしない	18.8	18.2	19.6	19.6	17.9
			6. まったくしない	43.3	53.2	33.1	47.2	38.9
	家でテレビの音楽番組を見る	1. 毎日のようにする	9.8	8.4	11.5	10.2	9.3	
		2. よくする	54.6	50.3	59.5	55.2	53.9	
		3. ときどきする	25.1	27.1	23.0	23.9	26.7	
		4. あまりしない	4.8	5.9	3.5	4.8	4.7	
		5. ほとんどしない	3.7	5.2	2.1	3.7	3.7	
		6. まったくしない	1.8	3.1	0.4	2.0	1.6	
	家でCDなどを聴く	1. 毎日のようにする	50.2	51.6	48.8	50.1	50.5	
		2. よくする	29.8	28.8	30.9	29.5	30.2	
		3. ときどきする	13.4	11.6	15.5	13.6	13.3	
		4. あまりしない	3.2	3.6	2.7	3.5	2.8	
		5. ほとんどしない	1.9	2.0	1.9	1.9	2.0	
		6. まったくしない	1.4	2.5	0.2	1.5	1.2	
	外出するときにポータブルCDプレーヤーなどで音楽を聴く	1. 毎日のようにする	25.7	29.5	21.5	25.4	26.1	
		2. よくする	18.4	20.8	15.9	18.7	18.1	
		3. ときどきする	17.7	16.1	19.5	17.8	17.7	
		4. あまりしない	11.2	8.5	14.2	11.0	11.5	
		5. ほとんどしない	8.5	6.7	10.6	9.3	7.5	
		6. まったくしない	18.3	18.5	18.2	17.8	19.0	

質問項目		全体	性別		学年別		
			男子	女子	1年	2年	
3	ふだん、次のようなことをどれくらい 友だちとCDなどの貸し借りを する 友だちとJ-POPや洋楽の話を する	1. 毎日のようにする	5.6	7.2	3.9	5.7	5.5
		2. よくする	23.6	21.5	26.0	24.6	22.4
		3. ときどきする	41.0	36.4	46.1	39.2	43.4
		4. あまりしない	12.1	12.2	12.1	12.1	12.2
		5. ほとんどしない	8.3	9.4	7.2	8.1	8.7
		6. まったくしない	9.2	13.3	4.8	10.4	7.8
		1. 毎日のようにする	9.1	10.4	7.7	9.7	8.4
		2. よくする	26.8	23.2	30.9	26.7	27.0
		3. ときどきする	37.3	34.9	40.0	36.9	37.8
		4. あまりしない	13.2	13.7	12.7	12.6	13.9
		5. ほとんどしない	7.5	8.9	5.9	7.2	7.9
		6. まったくしない	6.0	8.9	2.8	6.8	4.9
4	好きなアーティストの音楽だから	1. よくある	60.7	56.7	65.1	60.0	61.5
		2. ややある	27.2	28.3	26.0	27.4	26.9
		3. あまりない	7.4	7.6	7.2	7.7	7.0
		4. まったくない	4.7	7.4	1.8	4.8	4.6
	音楽番組などで聴いて気に入ったから	1. よくある	46.4	44.1	49.0	48.0	44.5
		2. ややある	35.5	33.3	38.0	34.6	36.7
		3. あまりない	11.6	12.5	10.5	11.4	11.8
		4. まったくない	6.5	10.1	2.5	6.0	7.0
	お店で試聴して気に入ったから	1. よくある	6.1	5.6	6.7	6.9	5.2
		2. ややある	11.3	12.0	10.6	9.4	13.7
		3. あまりない	41.6	39.0	44.8	41.9	41.6
		4. まったくない	40.7	43.4	37.9	41.8	39.5
	お店でジャケットを見て興味をもったから	1. よくある	1.8	2.1	1.5	1.7	1.9
		2. ややある	5.9	5.7	6.0	5.1	6.9
		3. あまりない	33.6	32.4	35.1	34.2	33.0
		4. まったくない	58.7	59.8	57.4	59.1	58.2
	友だちに薦められたから	1. よくある	6.9	8.0	5.7	6.9	6.9
		2. ややある	38.6	36.2	41.3	37.4	40.2
		3. あまりない	31.1	28.3	34.1	30.0	32.4
		4. まったくない	23.4	27.5	18.8	25.6	20.6
	インターネットで検索して気に入ったから	1. よくある	3.8	4.8	2.7	4.1	3.4
		2. ややある	10.1	11.9	8.2	9.6	10.8
		3. あまりない	26.2	25.5	26.9	26.4	25.9
		4. まったくない	59.9	57.8	62.2	59.9	60.0
	インターネットで検索してとりあえずおさえておこうと思ったから	1. よくある	2.3	3.4	1.0	2.6	1.9
		2. ややある	7.1	8.8	5.3	7.5	6.8
		3. あまりない	21.9	23.2	20.5	22.1	21.7
		4. まったくない	68.5	64.5	73.1	67.9	69.6
	携帯電話で「着うた」などを検索して気に入ったから	1. よくある	4.2	3.5	4.9	5.2	2.9
		2. ややある	13.4	11.9	15.2	14.1	12.6
		3. あまりない	18.7	18.1	19.4	19.4	17.8
		4. まったくない	63.6	66.5	60.6	61.3	66.7
	携帯電話で「着うた」などを検索してとりあえずおさえておこうと思ったから	1. よくある	2.0	2.2	1.9	2.3	1.7
		2. ややある	8.2	6.9	9.8	9.1	7.2
		3. あまりない	19.6	19.0	20.3	20.4	18.6
		4. まったくない	69.9	72.0	68.0	68.2	72.5

質問項目		全体	性別		学年別			
			男子	女子	1年	2年		
4	次のような理由で、CDを買ったり、インターネットや携帯電話から音楽をダウンロードしたりすることがあるか	ヒットしているから	1. よくある	13.6	12.0	15.4	14.3	12.7
			2. ややある	36.9	33.6	40.4	36.3	37.6
			3. あまりない	26.6	27.1	26.0	26.9	26.1
			4. まったくない	23.0	27.4	18.2	22.5	23.6
		コンサートやライブで聴いて気に入ったから	1. よくある	4.9	3.1	6.9	4.8	5.1
			2. ややある	14.0	12.2	16.1	11.3	17.6
			3. あまりない	24.8	22.1	27.8	25.1	24.4
			4. まったくない	56.1	62.6	49.2	58.8	52.9
		コンサートやライブが身近で行われていないので、その代わりとして	1. よくある	4.1	3.8	4.5	4.5	3.6
			2. ややある	11.1	10.6	11.7	10.8	11.6
			3. あまりない	25.4	23.4	27.6	24.4	26.7
			4. まったくない	59.3	62.2	56.2	60.3	58.1
5	次にあげるような音を「本物」だと思うか	コンサートやライブで「生楽器」で演奏している音	1. 絶対「本物」だ	48.1	48.0	48.4	48.3	48.1
			2. 「本物」だといえる	45.3	43.6	47.3	45.7	45.0
			3. 「本物」とはいい難しい	5.2	6.3	4.0	4.6	5.9
			4. 絶対「本物」ではない	1.2	2.1	0.3	1.4	1.0
		コンサートやライブで「電子楽器」で演奏している音	1. 絶対「本物」だ	22.5	26.5	18.4	22.8	22.4
			2. 「本物」だといえる	51.5	48.4	55.3	52.4	50.8
			3. 「本物」とはいい難しい	22.4	21.0	24.1	21.7	23.4
			4. 絶対「本物」ではない	3.2	4.1	2.3	3.1	3.4
		テレビの音楽番組で放送されている楽曲の音	1. 絶対「本物」だ	7.2	9.3	5.0	6.5	8.1
			2. 「本物」だといえる	40.9	38.7	43.7	42.2	39.8
			3. 「本物」とはいい難しい	45.4	44.1	47.3	45.8	45.4
			4. 絶対「本物」ではない	6.0	7.9	4.0	5.5	6.7
		CDに録音されている楽曲の音	1. 絶対「本物」だ	12.0	15.3	8.3	11.2	13.0
			2. 「本物」だといえる	49.4	46.9	52.5	50.4	48.5
			3. 「本物」とはいい難しい	34.3	32.2	36.9	34.3	34.6
			4. 絶対「本物」ではない	4.0	5.5	2.3	4.0	3.9
		インターネットで配信される楽曲の音	1. 絶対「本物」だ	6.0	9.1	2.6	5.5	6.7
			2. 「本物」だといえる	26.9	29.2	24.9	27.7	26.4
			3. 「本物」とはいい難しい	53.4	49.2	58.7	53.7	53.9
			4. 絶対「本物」ではない	13.0	12.5	13.7	13.2	13.0
		携帯電話の「着うた」などの音	1. 絶対「本物」だ	4.4	6.8	1.9	4.0	5.0
			2. 「本物」だといえる	15.1	16.4	13.8	15.2	15.1
			3. 「本物」とはいい難しい	50.1	46.4	54.6	48.8	52.3
			4. 絶対「本物」ではない	30.0	30.4	29.8	32.1	27.7
自分でCD-RやMDなどにダビングした音	1. 絶対「本物」だ	7.6	10.4	4.7	7.0	8.5		
	2. 「本物」だといえる	40.9	39.8	42.4	41.8	40.2		
	3. 「本物」とはいい難しい	43.5	41.8	45.8	43.2	44.3		
	4. 絶対「本物」ではない	7.5	8.0	7.1	8.0	7.0		
6	どちらの音として、AとBのどちらの方がいいと思うか	A：「生楽器」の音 B：「電子楽器」の音	1. Aの方がいい	45.8	42.0	50.3	42.5	50.3
			2. どちらかといえばAの方がいい	30.5	28.6	32.8	32.6	28.1
			3. 違いがわからない	14.3	17.6	10.9	14.7	14.1
			4. どちらかといえばBの方がいい	6.2	7.5	4.8	7.0	5.3
			5. Bの方がいい	2.8	4.3	1.1	3.2	2.2
		A：コンサートやライブで演奏した音 B：CD用にスタジオで演奏した音	1. Aの方がいい	41.3	40.0	43.2	40.8	42.5
			2. どちらかといえばAの方がいい	23.8	21.9	26.1	24.6	23.0
			3. 違いがわからない	11.0	12.5	9.4	11.2	10.8
			4. どちらかといえばBの方がいい	15.0	15.4	14.7	15.2	14.9
			5. Bの方がいい	8.4	10.2	6.6	8.2	8.8

質問項目			全体	性別		学年別		
				男子	女子	1年	2年	
6	ど ち ら の 音 が い い と 思 う か	A : 「着メロ」や「着うた」 などの携帯電話の音 B : コンポで聴くCDの音	1. Aの方がいい	2.8	3.4	2.1	2.5	3.2
			2. どちらかといえばAの方がいい	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9
			3. 違いがわからない	5.6	6.7	4.5	4.9	6.5
			4. どちらかといえばBの方がいい	17.4	14.6	20.5	18.2	16.4
			5. Bの方がいい	72.1	73.4	71.0	72.5	72.0
		A : 「生楽器」を演奏して 出す音 B : コンピュータでつくった、 「生楽器」とまったく同じ音	1. Aの方がいい	59.1	56.3	62.6	58.1	60.9
			2. どちらかといえばAの方がいい	19.7	18.1	21.5	21.3	17.8
			3. 違いがわからない	18.7	21.9	15.2	18.4	19.2
			4. どちらかといえばBの方がいい	1.0	1.6	0.4	0.7	1.5
			5. Bの方がいい	1.1	2.0	0.2	1.5	0.7
7	次 の 占 い の 中 で 、 結 果 を 信 じ て い る も の (複 数 回 答)	1. 動物占い	23.3	16.7	30.5	22.7	24.0	
		2. 星占い	30.5	20.4	41.6	32.1	28.6	
		3. 手相占い	15.9	12.2	20.0	15.5	16.3	
		4. 人相占い	7.7	6.5	9.1	8.4	6.9	
		5. タロット占い	10.1	7.4	13.1	10.7	9.3	
		6. 風水占い	10.0	8.9	11.2	9.9	10.1	
		7. 姓名判断	17.7	13.6	22.1	17.8	17.5	
		8. 夢占い	9.5	5.5	13.9	9.4	9.7	
		9. おみくじ	30.3	24.1	37.1	31.0	29.5	
		10. 十二支(干支)占い	10.7	10.9	10.4	10.6	10.8	
		11. 水晶占い	3.4	3.5	3.3	3.4	3.5	
		12. 血液型占い	21.0	14.3	28.4	21.6	20.4	
		13. 前世占い	6.5	5.5	7.5	6.7	6.2	
		14. 関心がない	20.2	28.8	10.8	21.0	19.2	
8	次 の よ う な こ と を 占 っ て ほ し い と 思 う か	恋愛運	1. ぜひ占ってほしい	36.5	32.0	41.8	37.3	35.9
			2. どちらかといえば占ってほしい	35.1	31.7	39.1	32.7	38.5
			3. どちらかといえば占ってほしくない	11.0	12.4	9.6	11.9	10.0
			4. ぜんぜん占ってほしくない	16.9	23.8	9.5	18.1	15.5
		勉強運	1. ぜひ占ってほしい	34.8	32.1	38.0	34.2	35.9
			2. どちらかといえば占ってほしい	36.4	31.9	41.6	35.6	37.7
			3. どちらかといえば占ってほしくない	11.1	10.4	11.9	12.3	9.6
			4. ぜんぜん占ってほしくない	17.3	25.5	8.5	17.9	16.8
		健康運	1. ぜひ占ってほしい	35.2	35.8	34.9	35.8	34.8
			2. どちらかといえば占ってほしい	39.8	33.2	47.3	38.8	41.3
			3. どちらかといえば占ってほしくない	8.6	7.9	9.4	8.7	8.6
			4. ぜんぜん占ってほしくない	16.0	23.1	8.5	16.7	15.3
		相性運(友だちと自分との)	1. ぜひ占ってほしい	34.0	31.0	37.7	34.7	33.5
			2. どちらかといえば占ってほしい	36.8	33.3	41.2	34.9	39.7
			3. どちらかといえば占ってほしくない	10.8	10.3	11.4	11.7	9.7
			4. ぜんぜん占ってほしくない	17.9	25.5	9.7	18.6	17.1
		未来運(家族全員の)	1. ぜひ占ってほしい	33.0	30.8	35.7	33.0	33.2
			2. どちらかといえば占ってほしい	32.0	29.4	35.0	30.6	34.0
			3. どちらかといえば占ってほしくない	14.3	11.8	17.1	15.7	12.6
			4. ぜんぜん占ってほしくない	20.4	28.0	12.2	20.7	20.2
		金銭運	1. ぜひ占ってほしい	41.7	40.3	43.6	42.0	41.7
			2. どちらかといえば占ってほしい	35.0	30.4	40.4	34.0	36.7
			3. どちらかといえば占ってほしくない	8.6	8.3	9.0	8.8	8.3
			4. ぜんぜん占ってほしくない	14.3	21.0	7.1	15.2	13.3

質問項目		全体	性別		学年別			
			男子	女子	1年	2年		
9	占いのかわかりについて、次のようなことほどの程度あるか	テレビ・新聞・雑誌・インターネットなどでの占いコーナーを見たり、読んだりする	1. よくある	35.8	20.4	52.8	34.8	37.1
			2. たまにある	36.6	37.6	35.7	37.8	35.3
			3. あまりない	16.3	23.2	8.8	16.4	16.3
			4. まったくない	11.1	18.8	2.7	11.0	11.2
		占いの結果によって、信用したり、しなかったり、使い分けている	1. よくある	30.4	19.8	42.1	31.0	29.8
			2. たまにある	28.8	26.1	31.8	27.9	30.0
			3. あまりない	19.9	22.8	16.8	19.5	20.4
			4. まったくない	20.7	31.3	9.3	21.6	19.8
		占いの結果によって、喜んだり、悲しんだりすることがある	1. よくある	18.5	11.5	26.3	17.7	19.8
			2. たまにある	28.3	24.7	32.7	28.2	28.9
			3. あまりない	28.8	30.1	28.0	29.9	28.0
			4. まったくない	23.6	33.7	13.0	24.2	23.3
		今までを振りかえてみて、占いの結果があたっていたと思うことがある	1. よくある	12.3	8.6	16.5	12.4	12.4
			2. たまにある	39.5	31.6	48.5	38.4	41.3
			3. あまりない	28.7	30.2	27.3	29.6	27.8
			4. まったくない	19.0	29.6	7.6	19.6	18.5
	占いの結果を気にして、自分の予定を変更することがある	1. よくある	1.7	1.8	1.7	1.2	2.4	
		2. たまにある	7.4	8.1	6.7	7.0	7.9	
		3. あまりない	26.4	20.9	32.6	26.6	26.4	
		4. まったくない	64.2	69.2	59.1	65.2	63.4	
10	次のような場所に、防犯カメラや監視カメラが設置されているのを見たことがあるか（複数回答）	1. 公園	4.4	6.0	2.7	4.5	4.3	
		2. 商店街・繁華街	40.5	42.6	38.1	40.3	40.7	
		3. お店の中	96.0	94.6	97.6	96.6	95.3	
		4. 駐車・駐輪場	37.8	39.2	36.2	38.3	37.1	
		5. 駅の構内	45.9	48.1	43.5	49.6	41.2	
		6. 公共の道路	10.9	12.3	9.4	11.5	10.1	
		7. 地下道	14.5	17.5	11.2	14.8	14.1	
		8. 通学路	2.0	3.0	0.8	2.0	1.9	
		9. 学校の校庭・校舎	10.9	13.4	8.1	13.1	8.0	
		10. 個人の住宅	19.7	20.6	18.7	21.3	17.7	
		11. マンションなど集合住宅の敷地内	37.7	38.8	36.5	40.5	34.2	
		12. 見たことがない	1.6	2.3	0.9	1.5	1.8	
11	次のような場所に、防犯カメラや監視カメラの設置が必要だと思うか（複数回答）	1. 公園	21.4	22.6	20.2	22.5	20.1	
		2. 商店街・繁華街	54.8	52.1	57.8	56.5	52.8	
		3. お店の中	79.0	73.6	84.8	80.8	76.6	
		4. 駐車・駐輪場	53.4	53.0	53.8	54.6	51.9	
		5. 駅の構内	53.9	52.6	55.3	56.0	51.2	
		6. 公共の道路	20.2	22.5	17.7	21.5	18.6	
		7. 地下道	38.4	37.5	39.3	38.3	38.5	
		8. 通学路	28.5	29.2	27.8	29.5	27.2	
		9. 学校の校庭・校舎	18.8	21.8	15.4	20.2	17.0	
		10. 個人の住宅	17.4	20.2	14.3	17.9	16.9	
		11. マンションなど集合住宅の敷地内	41.3	40.6	42.0	41.8	40.6	
		12. どの場所にも設置する必要はない	5.5	8.6	2.0	5.1	6.0	

質問項目		全体	性別		学年別			
			男子	女子	1年	2年		
12	防犯カメラや監視カメラの設置について、どのように思うか	設置や利用に関して何らかの基準をもうけることが必要	1. そう思う	40.6	40.3	41.1	40.5	41.0
			2. まあそう思う	46.0	44.5	47.8	46.2	45.9
			3. あまりそう思わない	9.4	10.1	8.6	9.4	9.3
			4. そう思わない	3.8	5.1	2.5	3.9	3.7
		犯罪の発生をおさえることに役立つ	1. そう思う	59.2	56.5	62.3	60.9	57.3
			2. まあそう思う	32.9	33.3	32.6	31.4	34.9
			3. あまりそう思わない	5.9	7.3	4.4	6.4	5.3
			4. そう思わない	1.8	2.9	0.7	1.2	2.6
		犯罪の検挙率が上がる	1. そう思う	48.4	46.8	50.5	48.6	48.5
			2. まあそう思う	40.9	40.0	42.1	41.3	40.7
			3. あまりそう思わない	8.5	10.4	6.6	8.8	8.3
			4. そう思わない	1.9	2.9	0.8	1.4	2.5
安心感が増す	1. そう思う	27.6	26.4	29.1	28.0	27.2		
	2. まあそう思う	38.9	36.9	41.3	39.8	38.0		
	3. あまりそう思わない	26.8	28.1	25.6	26.0	28.0		
	4. そう思わない	6.5	8.7	4.1	6.2	6.7		
町全体の安全につながる	1. そう思う	23.7	23.4	24.1	23.9	23.5		
	2. まあそう思う	48.9	46.7	51.7	48.7	49.5		
	3. あまりそう思わない	22.2	23.2	21.2	22.9	21.4		
	4. そう思わない	4.9	6.7	3.0	4.5	5.5		
いつ、どこで撮影されているかわからないので不安	1. そう思う	31.8	35.0	28.5	30.8	33.3		
	2. まあそう思う	41.9	39.3	44.9	41.6	42.5		
	3. あまりそう思わない	19.8	18.6	21.1	20.2	19.2		
	4. そう思わない	6.3	7.1	5.4	7.4	4.9		
モニターで誰が見ているかわからないので不安	1. そう思う	36.1	37.2	35.1	35.1	37.6		
	2. まあそう思う	38.0	36.1	40.4	38.8	37.3		
	3. あまりそう思わない	18.8	18.8	18.8	18.3	19.5		
	4. そう思わない	6.8	7.9	5.7	7.8	5.6		
記録された画像がどのように使われているかわからないので不安	1. そう思う	36.7	37.3	36.3	34.8	39.3		
	2. まあそう思う	36.2	35.3	37.4	37.1	35.2		
	3. あまりそう思わない	20.8	20.3	21.5	21.3	20.3		
	4. そう思わない	6.1	7.1	4.9	6.8	5.2		
プライバシーが守られない	1. そう思う	28.8	32.2	25.3	28.6	29.3		
	2. まあそう思う	41.4	40.0	43.3	40.2	43.2		
	3. あまりそう思わない	23.4	21.2	26.1	24.4	22.4		
	4. そう思わない	6.0	6.7	5.3	6.8	5.1		
いつも誰かに見られているようで窮屈	1. そう思う	23.0	25.9	19.9	22.3	24.0		
	2. まあそう思う	28.6	29.4	28.0	28.8	28.6		
	3. あまりそう思わない	34.4	30.7	38.6	34.5	34.4		
	4. そう思わない	13.7	14.0	13.5	14.4	13.0		
13	次のようなものが好きか	動物	1. とても好き	37.2	31.9	43.0	37.0	37.5
			2. かなり好き	32.0	34.9	29.0	32.3	31.8
			3. どちらともいえない	22.7	25.5	19.8	23.0	22.5
			4. あまり好きでない	6.2	6.1	6.4	5.8	6.8
			5. ぜんぜん好きでない	1.7	1.6	1.9	2.0	1.5
	植物	1. とても好き	17.8	16.5	19.2	18.1	17.5	
		2. かなり好き	29.9	26.4	33.8	30.0	29.8	
		3. どちらともいえない	43.6	46.7	40.4	42.3	45.4	
		4. あまり好きでない	6.7	7.6	5.8	7.5	5.9	
		5. ぜんぜん好きでない	1.8	2.8	0.8	2.1	1.5	

質問項目		全体	性別		学年別			
			男子	女子	1年	2年		
13	次のようなものが好きか	自然界のさまざまな現象	1. とても好き	20.0	22.5	17.3	21.4	18.2
			2. かなり好き	28.3	31.8	24.6	28.4	28.4
			3. どちらともいえない	42.2	37.7	47.6	39.9	45.5
			4. あまり好きでない	7.0	5.4	8.9	7.6	6.4
			5. ぜんぜん好きでない	2.1	2.6	1.6	2.6	1.5
		数 学	1. とても好き	7.9	11.1	4.4	7.8	8.0
			2. かなり好き	16.8	20.8	12.4	17.2	16.3
			3. どちらともいえない	30.6	33.7	27.3	30.3	31.0
			4. あまり好きでない	21.6	16.6	27.2	21.3	22.2
			5. ぜんぜん好きでない	23.0	17.7	28.8	23.4	22.5
		化 学	1. とても好き	6.4	9.6	2.8	6.3	6.4
			2. かなり好き	12.4	17.0	7.3	13.4	11.0
			3. どちらともいえない	28.0	32.6	23.0	29.3	26.4
			4. あまり好きでない	24.2	19.9	28.9	24.2	24.2
			5. ぜんぜん好きでない	29.0	20.8	38.0	26.7	31.9
		工作やものをつくること	1. とても好き	21.4	23.6	19.1	20.8	22.2
			2. かなり好き	28.7	31.0	26.3	29.3	28.0
			3. どちらともいえない	27.6	27.4	28.0	26.4	29.2
			4. あまり好きでない	14.9	11.5	18.6	16.4	13.0
			5. ぜんぜん好きでない	7.2	6.6	8.0	7.0	7.5
		ゲーム	1. とても好き	23.7	33.8	12.6	24.6	22.6
			2. かなり好き	32.1	36.2	27.7	33.0	31.0
			3. どちらともいえない	30.8	24.1	38.1	30.2	31.5
			4. あまり好きでない	10.2	4.4	16.7	8.7	12.1
			5. ぜんぜん好きでない	3.1	1.5	4.9	3.5	2.7
		パソコン	1. とても好き	17.3	21.8	12.5	18.9	15.4
			2. かなり好き	28.6	28.8	28.5	29.5	27.6
			3. どちらともいえない	41.0	37.9	44.5	37.9	45.2
			4. あまり好きでない	9.2	7.5	11.0	9.7	8.6
			5. ぜんぜん好きでない	3.7	3.9	3.4	4.0	3.3
		スポーツ	1. とても好き	38.8	48.5	28.3	39.4	38.3
			2. かなり好き	31.6	31.5	31.8	31.5	31.8
			3. どちらともいえない	20.2	14.7	26.5	19.4	21.4
			4. あまり好きでない	6.6	3.4	10.0	6.6	6.5
			5. ぜんぜん好きでない	2.6	1.9	3.4	3.1	2.0
		旅 行	1. とても好き	41.8	37.0	47.2	40.8	43.2
			2. かなり好き	33.3	32.6	34.1	33.5	33.1
			3. どちらともいえない	18.2	21.6	14.6	18.0	18.6
			4. あまり好きでない	4.9	6.5	3.1	5.6	3.9
			5. ぜんぜん好きでない	1.7	2.4	0.9	2.0	1.2
		人 間	1. とても好き	21.2	21.4	21.3	21.0	21.7
			2. かなり好き	27.2	25.6	29.2	26.4	28.5
			3. どちらともいえない	40.6	40.9	40.6	41.9	39.4
			4. あまり好きでない	6.6	7.0	6.3	7.1	6.1
			5. ぜんぜん好きでない	4.0	5.2	2.7	3.7	4.4
14	授業、次のようなことが できるかどうか	地震などの予知技術の精度 は限りなく完璧になる	1. きっとできる	17.3	20.3	14.0	16.3	18.7
			2. たぶんできる	38.4	37.0	40.0	40.0	36.4
			3. わからない	22.8	19.9	26.0	21.9	24.0
			4. たぶんできない	16.2	15.8	16.6	16.4	16.0
			5. 絶対できない	5.3	7.0	3.3	5.5	5.0

質問項目		全体	性別		学年別		
			男子	女子	1年	2年	
14	将来、次のようなことができるようになると思うか 雨不足や日照不足などは人工的に調節できる	1. きっとできる	9.8	13.9	5.4	10.1	9.6
		2. たぶんできる	19.2	21.6	16.7	19.8	18.6
		3. わからない	27.4	25.1	30.1	28.1	26.7
		4. たぶんできない	29.9	25.6	34.8	29.2	31.0
		5. 絶対できない	13.4	13.9	12.9	12.8	14.2
	酸性雨や大気汚染などの現在以上の悪化は食い止められる	1. きっとできる	11.1	12.8	9.3	10.6	11.8
		2. たぶんできる	20.7	19.6	22.2	22.3	19.0
		3. わからない	25.4	21.9	29.4	25.4	25.5
		4. たぶんできない	31.8	31.8	32.1	31.8	32.1
		5. 絶対できない	10.6	13.9	7.1	9.9	11.6
	各家庭でも太陽熱や風力などの再生可能なエネルギー源が普及する	1. きっとできる	28.1	30.8	25.2	28.7	27.4
		2. たぶんできる	46.2	42.4	50.4	45.8	46.8
		3. わからない	16.9	16.1	17.9	16.2	17.9
		4. たぶんできない	6.6	7.8	5.3	7.1	6.0
		5. 絶対できない	2.1	2.9	1.2	2.2	1.9
	ごみの分別回収は完全燃焼技術の開発で必要なくなる	1. きっとできる	7.5	10.5	4.4	7.0	8.2
		2. たぶんできる	13.4	15.6	11.0	14.0	12.7
		3. わからない	36.8	33.5	40.6	37.8	35.7
		4. たぶんできない	30.7	27.1	34.8	30.0	31.8
		5. 絶対できない	11.3	13.2	9.2	11.1	11.5
	ガソリン車、ディーゼル車よりも燃料電池車が当たり前になる	1. きっとできる	29.2	34.1	23.8	30.8	27.1
		2. たぶんできる	36.5	34.7	38.5	36.4	36.6
		3. わからない	24.6	20.4	29.2	23.6	25.9
		4. たぶんできない	7.2	7.1	7.3	7.0	7.4
		5. 絶対できない	2.4	3.6	1.1	2.0	2.9
	地球環境問題は開発途上国と先進国間の国際的な技術協力で解決できる	1. きっとできる	11.5	12.2	10.7	11.2	11.8
		2. たぶんできる	22.5	22.3	22.8	24.3	20.4
		3. わからない	35.1	31.3	39.4	34.5	36.0
4. たぶんできない		22.5	23.6	21.5	21.5	23.9	
5. 絶対できない		8.2	10.6	5.5	8.5	7.9	
高度な技術進歩のおかげで開発途上国の工業化は深刻な公害問題を発生させない	1. きっとできる	6.4	7.7	4.9	6.3	6.4	
	2. たぶんできる	14.6	13.6	15.7	16.0	12.8	
	3. わからない	38.1	34.8	41.9	36.8	39.9	
	4. たぶんできない	30.0	29.2	30.9	29.8	30.4	
	5. 絶対できない	10.8	14.7	6.6	11.1	10.5	
15	日頃から、次のようなことがあるか 公園や街路樹などの季節の自然の変化が気になる	1. よく感じる	23.0	21.5	24.7	22.7	23.5
		2. かなり感じる	40.6	40.7	40.8	43.0	37.9
		3. あまり感じない	31.8	31.7	32.0	29.8	34.4
		4. ほとんど感じない	4.4	6.1	2.5	4.5	4.2
	水道の水を飲むとき不安に思う	1. よく感じる	18.1	17.3	19.0	19.0	17.0
		2. かなり感じる	22.8	21.0	24.8	23.4	22.1
		3. あまり感じない	42.3	43.1	41.5	41.1	43.9
		4. ほとんど感じない	16.7	18.6	14.7	16.5	17.0
	パソコン、携帯電話（PHSを含む）などのツールが使えないと不自由で困る	1. よく感じる	29.1	28.2	30.2	29.1	29.2
		2. かなり感じる	31.3	29.2	33.7	30.7	32.2
		3. あまり感じない	29.5	30.8	28.2	30.1	28.8
		4. ほとんど感じない	9.9	11.8	7.9	10.1	9.8

質問項目			全体	性別		学年別		
				男子	女子	1年	2年	
15	日頃から、次のようなことがあるか	散歩やガーデニングなどで自然と直接ふれあう	1. よくする	5.5	5.7	5.2	4.6	6.5
			2. かなりする	14.1	12.4	16.0	14.1	14.2
			3. あまりしない	61.3	59.6	63.5	61.3	61.8
			4. ほとんどしない	18.9	22.3	15.2	20.0	17.5
	暑くてもクーラーの使用は控える	1. よくする	23.5	24.3	22.8	19.9	28.2	
		2. かなりする	27.3	27.0	27.8	29.1	25.1	
		3. あまりしない	36.6	35.5	37.9	37.4	35.7	
		4. ほとんどしない	12.4	13.2	11.6	13.5	11.0	
	栄養バランスを考え、人工食品よりは自然食品を選択する	1. よくする	11.1	10.9	11.4	8.9	14.0	
		2. かなりする	24.4	24.0	24.9	24.6	24.3	
		3. あまりしない	52.4	51.1	54.0	54.2	50.3	
		4. ほとんどしない	11.9	14.0	9.7	12.4	11.4	
	分別用のカゴがなくても、ごみを分別して捨てるようにしている	1. よくする	15.9	14.9	17.0	15.0	17.1	
		2. かなりする	30.6	28.2	33.3	30.4	31.0	
		3. あまりしない	43.8	44.7	43.1	44.5	43.2	
		4. ほとんどしない	9.5	12.2	6.6	10.2	8.7	
学校の教室や施設の無駄な点灯は消すようにしている	1. よくする	18.1	17.1	19.2	16.2	20.5		
	2. かなりする	36.1	34.6	37.9	39.0	32.6		
	3. あまりしない	37.6	38.0	37.4	36.4	39.3		
	4. ほとんどしない	8.0	10.3	5.5	8.4	7.6		
16	環境や自然などの保護に、ふだんから気をつけている方だと思うか	1. とても気をつけている	6.1	7.8	4.2	5.6	6.7	
		2. まあ気をつけている	41.8	39.7	44.4	41.6	42.4	
		3. どちらともいえない	34.8	34.4	35.6	35.4	34.4	
		4. あまり気をつけていない	14.3	14.1	14.6	14.8	13.8	
		5. まったく気をつけていない	2.6	3.9	1.3	2.5	2.8	
17	将来の地球環境に対して、どのように感じているか	1. とても楽観している	2.8	4.1	1.4	2.6	3.0	
		2. かなり楽観している	11.1	12.2	9.9	12.0	10.0	
		3. あまり楽観していない	49.1	44.2	55.0	50.3	48.2	
		4. まったく楽観していない	24.0	28.7	19.0	22.6	26.0	
		5. わからない	12.5	10.7	14.6	12.4	12.8	
18	次にあげるAとBのどちらに賛成(あるいはどちらが好き)か	1	A: 安い原子力発電を使った電力	23.0	30.0	15.6	21.8	24.7
			B: やや高いが風力発電、太陽光などを使った電力	76.4	70.0	84.4	78.2	75.3
		2	A: 銀行の現金自動預け払い機(ATM)	48.6	48.4	49.3	47.5	50.6
			B: 銀行員がいる窓口	50.9	51.6	50.7	52.5	49.4
		3	A: マニュアル通りの対応しかないが、便利なコンビニ	43.0	42.3	44.4	43.3	43.3
			B: ときどき間違いがあったり時間がかかったりするが、店員と気軽に話せる店	56.4	57.7	55.6	56.7	56.7
		4	A: テレビ画面による授業	13.3	16.5	9.8	13.8	12.8
			B: 教室で行う授業	86.3	83.5	90.2	86.3	87.2
		5	A: 安い遺伝子組み替えをした食物	17.6	24.0	10.9	18.1	17.3
			B: やや高いが遺伝子組み替えをしていない食物	81.9	76.0	89.1	81.9	82.7
		6	A: サプリメントで栄養をつける	7.0	8.5	5.5	6.8	7.4
			B: 食べ物で栄養をつける	92.5	91.5	94.5	93.2	92.6
		7	A: 農薬を使った形がよく、安い野菜	19.1	22.1	16.1	20.7	17.4
			B: 有機農法の形が悪く、やや高い野菜	80.1	77.9	83.9	79.3	82.6
		8	A: ファストフード	28.2	30.5	26.2	28.7	28.1
			B: スローフード(ゆっくり出てくる手作りの料理)	71.1	69.5	73.8	71.3	71.9
		9	A: 友だちと電話やメールで話す	12.1	15.4	8.7	12.8	11.4
			B: 友だちと会って話す	87.2	84.6	91.3	87.2	88.6
		10	A: 恋人と電話やメールで話す	7.2	8.6	6.0	8.6	5.7
			B: 恋人と会って話す	91.5	91.4	94.0	91.4	94.3

質問項目			全体	性別		学年別		
				男子	女子	1年	2年	
18	(次にあげるAとBのどちらに賛成 あるいはどちらが好き)か	11	A：ワープロで書かれた手紙	9.3	15.5	2.6	9.0	9.7
			B：手書きの手紙	90.1	84.5	97.4	91.0	90.3
		12	A：ブランドの服やバッグのプレゼント	37.3	30.3	46.0	35.8	40.3
			B：手作りのセーターやケーキのプレゼント	61.4	69.7	54.0	64.2	59.7
		13	A：ロボットのペット	8.3	10.1	6.6	8.5	8.3
			B：動物のペット	90.9	89.9	93.4	91.5	91.7
		14	A：造花	11.3	14.2	8.1	11.0	11.7
			B：本物の花	88.2	85.8	91.9	89.0	88.3
		15	A：整形手術をした美顔の恋人	16.2	23.1	9.5	15.3	18.3
			B：美顔ではないが整形手術はしていない恋人	81.4	76.9	90.5	84.7	81.7
		16	A：カゼをひいたときはすぐ薬を飲んで治す	44.5	45.3	44.3	43.6	46.3
			B：カゼをひいたときは温かくして寝て治す	54.8	54.7	55.7	56.4	53.7
19	日頃、次のようなことがどの程度あてはまるか	自分がひとりぼっちのよう で不安になる	1. とてもある	8.9	8.5	9.5	9.0	8.9
			2. わりとある	19.5	18.9	20.3	18.8	20.6
			3. ときどきある	29.7	27.9	32.1	28.2	32.1
			4. あまりない	28.5	28.4	29.1	30.3	26.7
			5. ぜんぜんない	12.8	16.3	9.0	13.7	11.8
		自分の居場所がないように 感じる	1. とてもある	9.2	9.0	9.5	9.4	9.1
			2. わりとある	15.9	17.3	14.6	15.0	17.2
			3. ときどきある	29.4	27.5	31.9	27.8	31.9
			4. あまりない	31.3	29.8	33.4	32.8	30.0
			5. ぜんぜんない	13.5	16.3	10.6	15.0	11.8
		今の生活がむなしく感じる	1. とてもある	12.6	14.0	11.2	11.5	14.0
			2. わりとある	20.0	20.8	19.5	19.9	20.5
			3. ときどきある	27.9	28.4	27.7	28.0	28.2
			4. あまりない	25.3	22.5	28.7	25.9	24.8
			5. ぜんぜんない	13.6	14.3	13.0	14.6	12.6
		何かを決めるとき、なかなか 決められず困る	1. とてもある	21.4	19.8	23.5	20.6	22.7
			2. わりとある	29.0	27.8	30.7	29.3	29.0
			3. ときどきある	28.7	29.2	28.6	29.6	28.1
			4. あまりない	14.1	15.4	12.9	14.1	14.3
			5. ぜんぜんない	6.2	7.8	4.4	6.4	6.0
		自分の感情をコントロール できない	1. とてもある	5.5	5.5	5.6	6.1	4.9
			2. わりとある	12.3	10.0	14.9	11.5	13.5
			3. ときどきある	25.2	24.9	26.0	25.7	25.0
			4. あまりない	40.0	40.0	40.6	39.9	40.7
			5. ぜんぜんない	16.3	19.6	13.0	16.8	16.0
		学校にいるとイライラする	1. とてもある	5.6	6.7	4.4	4.7	6.7
			2. わりとある	10.4	11.4	9.4	10.1	10.8
			3. ときどきある	25.3	23.8	27.3	23.4	28.0
			4. あまりない	38.1	37.1	39.6	39.6	36.6
			5. ぜんぜんない	20.1	21.1	19.2	22.1	17.9
お小遣いは計画的に使う	1. とてもある	12.3	13.9	10.8	10.1	15.3		
	2. わりとある	21.5	21.9	21.5	21.4	22.1		
	3. ときどきある	21.6	20.1	23.6	23.6	19.5		
	4. あまりない	30.6	27.8	34.2	32.6	28.6		
	5. ぜんぜんない	13.2	16.3	10.0	12.3	14.6		

質問項目			全体	性別		学年別		
				男子	女子	1年	2年	
19	どの程度あてはまるか 日頃、次のようなことが	校則に決められた通りに制服を着る	1. とてもある	25.6	31.0	20.1	26.3	25.2
			2. わりとある	31.9	31.5	32.9	31.6	32.9
			3. ときどきある	20.4	19.2	22.1	18.6	23.1
			4. あまりない	15.1	12.0	18.9	16.0	14.4
			5. ぜんぜんない	6.1	6.4	5.9	7.6	4.4
		茶髪にしたりパーマをかける	1. とてもある	4.2	2.4	6.3	6.2	1.8
			2. わりとある	6.7	4.0	9.8	6.7	6.9
			3. ときどきある	8.3	6.0	11.0	7.3	9.7
			4. あまりない	14.6	12.6	17.1	12.4	17.6
			5. ぜんぜんない	65.4	75.0	55.8	67.3	64.0
20	高校生として、どんなタイプだと思うか	行動力がある	1. とてもそう	7.3	7.7	6.9	6.7	8.1
			2. わりとそう	20.2	18.3	22.5	19.9	20.9
			3. 少しそう	26.7	27.8	26.0	26.6	27.3
			4. あまりそうでない	35.3	34.2	37.1	36.2	34.8
			5. ぜんぜんそうでない	9.8	12.0	7.4	10.6	8.9
		おしゃれな方だ	1. とてもそう	2.5	2.7	2.4	2.2	2.9
			2. わりとそう	10.0	9.4	10.8	8.9	11.5
			3. 少しそう	24.9	22.1	28.4	24.2	26.1
			4. あまりそうでない	42.5	42.0	43.8	42.7	43.0
			5. ぜんぜんそうでない	19.3	23.9	14.6	21.9	16.4
		異性から人気がある	1. とてもそう	1.6	2.5	0.7	1.6	1.7
			2. わりとそう	2.0	2.1	2.0	1.6	2.6
			3. 少しそう	11.6	15.1	8.0	9.9	14.1
			4. あまりそうでない	41.3	43.3	40.2	41.1	42.7
			5. ぜんぜんそうでない	42.2	37.0	49.1	45.8	38.9
		友だちが多い	1. とてもそう	5.9	5.2	6.8	6.0	6.0
			2. わりとそう	23.5	22.8	24.9	25.0	22.3
			3. 少しそう	34.2	35.0	34.1	34.1	35.1
			4. あまりそうでない	28.4	28.8	28.6	28.6	28.8
			5. ぜんぜんそうでない	6.9	8.2	5.6	6.3	7.8
		努力型だ	1. とてもそう	6.9	7.7	6.3	6.0	8.2
			2. わりとそう	19.6	17.7	22.1	19.4	20.3
			3. 少しそう	25.3	24.2	27.1	24.4	27.0
			4. あまりそうでない	30.4	30.1	31.4	32.8	28.1
			5. ぜんぜんそうでない	16.7	20.3	13.0	17.3	16.3
		校則は守っている	1. とてもそう	17.3	19.7	14.9	17.3	17.6
			2. わりとそう	35.3	34.3	37.2	37.3	33.6
			3. 少しそう	25.9	27.2	24.9	24.4	28.2
			4. あまりそうでない	15.4	12.8	18.6	15.5	15.7
			5. ぜんぜんそうでない	5.2	5.9	4.4	5.5	4.9
		友だちから信頼されている	1. とてもそう	3.3	3.8	3.0	2.9	4.0
			2. わりとそう	17.9	14.8	21.8	15.9	20.9
			3. 少しそう	44.5	43.9	46.5	45.9	44.2
			4. あまりそうでない	26.0	28.4	24.2	28.4	23.9
			5. ぜんぜんそうでない	6.9	9.1	4.6	7.0	7.0
		友だちやクラスをひっぱる力がある	1. とてもそう	3.0	3.4	2.6	2.7	3.5
			2. わりとそう	7.6	8.0	7.4	7.3	8.3
			3. 少しそう	19.9	20.9	19.2	20.7	19.4
			4. あまりそうでない	42.0	40.5	44.5	43.3	41.2
			5. ぜんぜんそうでない	26.5	27.2	26.3	26.1	27.6

質問項目			全体	性別		学年別		
				男子	女子	1年	2年	
20	高校生として、 どんなタイプ だと思うか	先生から信頼されている	1. とてもそう	2.7	3.3	2.1	2.6	2.9
			2. わりとそう	8.4	8.6	8.3	7.5	9.8
			3. 少しそう	28.2	25.4	32.1	27.1	30.4
			4. あまりそうでない	38.4	38.2	39.5	40.7	36.4
			5. ぜんぜんそうでない	21.1	24.5	18.0	22.1	20.5
	スポーツが得意だ	1. とてもそう	10.5	12.8	8.2	10.4	10.8	
		2. わりとそう	21.3	24.2	18.6	20.5	22.8	
		3. 少しそう	24.0	26.8	21.5	24.7	23.6	
		4. あまりそうでない	24.8	21.3	29.0	25.0	25.0	
		5. ぜんぜんそうでない	18.5	14.9	22.7	19.3	17.7	
21	部活動をしているか	1. 運動部に入って熱心に活動している	47.0	54.7	39.6	50.9	43.1	
		2. 運動部に入っているが、あまり熱心に活動していない	13.3	15.9	10.7	14.0	12.8	
		3. 文化部に入って熱心に活動している	11.2	4.9	18.3	11.6	10.8	
		4. 文化部に入っているが、あまり熱心に活動していない	6.6	3.0	10.6	7.6	5.4	
		5. 以前入っていたが、今は入っていない	15.8	15.6	16.3	11.4	21.6	
		6. 入ったことがない	3.6	4.4	2.8	2.5	5.1	
		7. その他	1.6	1.5	1.8	2.0	1.2	
22	成績は、どのあたりか	1. 上	4.6	6.2	2.9	3.3	6.3	
		2. 中の上	22.4	21.7	23.6	19.4	26.7	
		3. 中	29.1	29.0	29.8	30.4	28.1	
		4. 中の下	24.8	24.4	25.6	25.9	23.8	
		5. 下	18.1	18.6	18.0	20.9	15.0	
23	これから先、 どんな人生を送れそうか	いわゆる一流大学へ入学する	1. とても無理だろう	30.5	25.5	36.6	30.2	31.4
			2. かなり無理だろう	23.5	21.6	25.9	24.3	23.0
			3. やや無理だろう	28.8	30.4	27.6	29.8	28.2
			4. たぶん可能だろう	11.5	14.0	8.9	11.1	12.1
			5. きっと可能だろう	4.9	8.5	0.9	4.6	5.3
	大企業に就職する	1. とても無理だろう	25.8	21.5	31.0	26.3	25.7	
		2. かなり無理だろう	24.7	22.1	28.0	25.2	24.5	
		3. やや無理だろう	32.0	34.9	29.4	32.1	32.5	
		4. たぶん可能だろう	12.3	14.5	10.2	12.2	12.7	
		5. きっと可能だろう	4.3	7.1	1.4	4.1	4.6	
	よい相手と結婚する	1. とても無理だろう	7.6	8.3	7.1	7.7	7.8	
		2. かなり無理だろう	9.9	10.2	9.8	11.2	8.5	
		3. やや無理だろう	26.8	28.1	26.2	27.3	27.1	
		4. たぶん可能だろう	37.6	35.2	41.1	37.5	38.7	
		5. きっと可能だろう	16.8	18.2	15.8	16.3	17.9	
	仕事の面で成功する	1. とても無理だろう	5.8	6.0	5.6	6.2	5.3	
		2. かなり無理だろう	8.0	7.4	8.9	9.2	6.7	
		3. やや無理だろう	29.4	30.4	29.1	31.4	27.7	
		4. たぶん可能だろう	43.8	42.3	46.5	42.6	46.5	
		5. きっと可能だろう	11.8	13.8	9.9	10.5	13.8	
幸せな家庭を作る	1. とても無理だろう	5.2	6.4	4.0	5.5	5.0		
	2. かなり無理だろう	4.3	5.2	3.5	5.0	3.5		
	3. やや無理だろう	17.3	21.4	13.2	17.7	17.2		
	4. たぶん可能だろう	47.0	41.7	54.1	46.2	49.3		
	5. きっと可能だろう	25.0	25.3	25.3	25.6	24.9		

質問項目			全体	性別		学年別		
				男子	女子	1年	2年	
23	これから先、 どんな人生を送れそうか	よい親になる	1. とても無理だろう	5.8	7.1	4.4	5.9	5.8
			2. かなり無理だろう	4.8	5.6	4.1	5.3	4.3
			3. やや無理だろう	20.3	21.4	19.7	21.1	20.0
			4. たぶん可能だろう	44.4	39.8	50.4	44.5	45.4
			5. きっと可能だろう	23.6	26.1	21.3	23.2	24.6
	経済的にとても豊かになる	1. とても無理だろう	5.4	6.6	4.1	5.9	4.9	
		2. かなり無理だろう	8.3	9.7	7.0	10.5	5.8	
		3. やや無理だろう	42.5	42.0	44.2	43.2	42.8	
		4. たぶん可能だろう	34.1	30.8	38.7	32.8	36.7	
		5. きっと可能だろう	8.5	10.9	6.1	7.7	9.9	
	社会的に認められる	1. とても無理だろう	6.5	7.6	5.5	7.2	5.8	
		2. かなり無理だろう	8.5	9.3	7.8	9.9	6.9	
		3. やや無理だろう	34.9	35.4	35.3	35.4	35.3	
		4. たぶん可能だろう	40.6	37.4	45.4	40.1	42.6	
		5. きっと可能だろう	8.1	10.4	5.9	7.3	9.4	
24	理系・文系のどちらを志望 するか	1. 絶対理系	16.9	24.5	8.8	15.2	19.4	
		2. まあ理系	20.1	24.1	16.2	21.3	19.0	
		3. どちらともいえない(わからない)	7.5	7.3	8.0	8.9	6.0	
		4. まあ文系	22.3	21.7	23.6	23.0	22.1	
		5. 絶対文系	30.6	20.3	42.5	29.6	32.5	
		6. その他	1.5	2.1	0.9	2.0	1.0	
25	高校卒業後の進路をどう 考えているか	1. 入るのが難しい4年制大学	34.8	41.2	28.6	34.3	36.4	
		2. ふつう程度の4年制大学	47.0	45.2	50.2	48.4	46.5	
		3. 入るのがやさしい4年制大学	3.2	3.3	3.3	3.3	3.2	
		4. 短期大学	2.0	0.0	4.3	1.8	2.4	
		5. 専修学校・専門学校	5.4	3.0	8.1	4.9	6.1	
		6. 就職	1.0	1.2	0.7	1.1	0.9	
		7. 家業の手伝いなど	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		8. フリーター	0.3	0.3	0.4	0.5	0.2	
		9. きちんと考えたことがない	2.6	2.8	2.5	3.5	1.6	
		10. その他	2.4	3.1	1.8	2.3	2.7	